

# 北海道議会時報

平成10年第2回定例会



北海道議会事務局

(表紙写真)

横綱千代の山記念館（福島町・道の駅「横綱の里ふくしま」）

汽車や電車に駅があるように、道路にも立ち寄って心とからだをリフレッシュさせる駅があつたら、という考え方から生まれたのが道の駅です。

函館と松前・江差を結ぶ国道228号線上、松前郡福島町にある道の駅「横綱の里ふくしま」は平成9年4月に指定を受けた駅で、快適なトイレと特産品のするめなどを販売する売店があります。

ここに隣接しているのが横綱千代の山・千代の富士記念館で、福島町が輩出した千代の山と千代の富士、この2人の大横綱の業績を記念して建設されたものです。

施設の中には、両横綱が生活し修行を積んだ九重部屋がそっくり再現されており、神聖な土俵と大画面マルチスクリーンで映される両横綱の映像と相まって、見る者を圧倒します。また実際に九重部屋の夏合宿や各学校の相撲部の合宿などにも活用されており、力士たちの迫力ある稽古を観戦できることもあります。

心・技・体を極めた横綱ならではの栄光を余すところなく展示し、一種独特の神聖な空気さえ感じられる横綱記念館、相撲ファンでなくとも必ず立ち寄りたい施設となっています。

(福島町提供)

.....もくじ.....

第2回定例会

概要	1
本会議	2
提出案件	12
決議	15
意見書	16
請願・陳情	21

委員会の動き

議会運営委員会	22
常任委員会	25
総務委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会	33
総合開発調査特別委員会	
産炭地域振興対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
地方分権・行政改革問題調査特別委員会	
予算特別委員会	36

資料

第2回定例会において議決を経た条例の公布調	42
北海道議会議席表	43
4・5・6月のメモ	44

注 企業会計決算特別委員会は終了後一括掲載

# 議会日誌

▶ 4月		
7日(火)	議会運営、各常任委員会	19日(金) 議会運営委員会
8日(水)	総合開発調査特別、産炭地域振興 対策特別、北方領土対策特別、エ ネルギー問題調査特別、交通安全 対策特別、地方分権・行政改革問 題調査特別各委員会	本会議（一般質問〈4人〉）
		議会運営、農政各委員会
		本会議（一般質問〈6人〉、予算及 び企業会計決算各特別委員会設置）
		予算特別委員会（正副委員長の互 選、2分科会設置）
		予算第1・第2分科会（正副委員長 の互選）
		企業会計決算特別委員会（正副委 員長の互選）
▶ 5月		
12日(火)	各常任委員会	23日(火) 予算第1・第2各分科会（各部所管 審査）
13日(水)	総合開発調査特別、産炭地域振興 対策特別、北方領土対策特別、交 通安全対策特別、地方分権・行政 改革問題調査特別各委員会	24日(水) 予算第2分科会（各部所管審査、意 見調整）
		予算特別委員会（各分科委員長報 告、総括質疑、議案等可決）
▶ 6月		
2日(火)	議会運営、各常任委員会	各常任、産炭地域振興対策特別、 地方分権・行政改革問題調査特別 各委員会
3日(水)	総合開発調査特別、北方領土対策 特別、エネルギー問題調査特別、 交通安全対策特別、地方分権・行 政改革問題調査特別各委員会	企業会計決算特別各委員会（審 查日程決定）
8日(月)	議会運営、各常任、産炭地域振興 対策特別、北方領土対策特別、交 通安全対策特別各委員会	議会運営委員会
9日(火)	(第2回定例会開会) 議会運営委員会 <b>本会議</b> （議席の一部変更、会期決 定〈18日間〉、特別委員会委員補欠 選任、提案説明、先議案件5件（総 合経済対策に係る補正予算）議決、 決議案1件可決）	<b>本会議</b> （各委員長報告、議案等可 決、追加提案説明、公安委員会委 員及び方面公安委員会委員の選任 同意、収用委員会委員及び収用委 員会予備委員の選任同意、公害審 査会委員の選任同意、決議案2件可 決及び意見案5件可決、報告第36号 ないし第38号〈企業会計決算〉の閉 会中継続審査の決定、請願・陳情 審査）
15日(月)	議会運営委員会 <b>本会議</b> （一般質問〈1人〉）	(第2回定例会閉会)
16日(火)	議会運営、北方領土対策特別各委 員会 <b>本会議</b> （一般質問〈2人〉）	
17日(水)	議会運営委員会 <b>本会議</b> （追加提案説明、一般質問 〈5人〉）	
18日(木)	議会運営委員会 <b>本会議</b> （日程延期）	

# 第2回定例会

総額2,668億197万円余の総合経済対策関連補正予算成立

►インドとパキスタンの核実験に抗議し、国際平和を希求する決議案を可決◀

## 概要

① 平成10年度補正予算案等を審議する第2回定例会は、6月9日招集され、会議録署名議員の指定等を行い、会期を6月26日までの18日間と決定。

次に、総額2,671億1,562万円余の平成10年度各会計補正予算等が上程され、知事から提案説明があり、そのうち、総合経済対策に係る補正予算案については、先議することとし、質疑の後、委員会付託を省略し、討論、採決の結果、原案可決。

次に、インドとパキスタンの核実験に抗議し、国際平和を希求する決議案を委員会付託を省略し、採決の結果、原案可決。

次に、議案調査のため、6月10日から6月12日まで休会することに決定して、散会。

② 休会明けの6月15日から一般質問に入ったが、北海道の発展に向けた取組や、新千歳空港の滑走路延長等の問題で、審議が中断、そのまま延会となつた。

③ 6月16日、一般質問を再開。

④ 6月17日、平成9年度北海道病院事業会計決算に関する件ほか2件が追加提案され、知事から提案説明。その後、一般質問を継続したが、道民の森の今後の対応等の問題で、審議が中断、そのまま延会となつた。

⑤ 6月19日、一般質問を再開。

⑥ 6月22日、一般質問を終結。直ちに予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会を設置し、議案等を各委員会に付託。その後、各委員会付託議案審査のため、6月23日から6月25日まで休会することに決定して、散会。

⑦ 予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会は、6月22日に正副委員長の互選を行つた。予算特別委員会は2分科会を設置し、6月23日から各分科会所管の審査に入った。第1分科会は6月23日、第2分科会は翌24日審査を終了し、それぞれ各分科委員長報告の後、いずれも原案可決した。なお、審査の経緯にかんがみ、食中毒事件への対応及び産学官融合センター（仮称）への道のかかわりについて、意見を付すことに決定した。

⑧ 会期最終日の6月26日は、各付託議案に対する委員長報告、討論、採決の結果、いずれも原案可決。

次に、北海道公安委員会委員ほか2件の人事案件が追加提案され、知事から提案説明の後、いずれも同意議決。

次に西暦2000年主要国首脳会議（サミット）の北海道開催に関する決議案ほか1件の決議案及び抵当証券に係る消費者保護に関する意見書ほか4件の意見案を、いずれも原案可決。

次に、陳情・請願審査2件を採択と決定し、平成9年度各事業会計決算の閉会中継続審査、閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件を決定の後、開会以来18日目の6月26日に閉会した。

⑨ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提出者	提出件数	議決の状況					
		原案可決	承認議決	同意議決	継続審査	報告のみ	計
知事	76	35	2	3	3	33	76
議員	8	8	—	—	—	—	8
計	84	43	2	3	3	33	84

# 本会議

○ 6月9日(火) 午前10時25分開議、岩本允議長、平成10年第2回定例会の開会を宣し、

**日程第1 議席の一部変更の件**を議題とし、議席の一部を配付議席表のとおり変更することを異議なく決定。

**日程第2 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告の後、議長から、中川義雄議員(自民)の辞職を許可した(5月11日)旨並びに元議員星野健三氏の逝去(3月31日)、元議員野中富雄氏の逝去(5月2日)及び元議員大方春一氏の逝去(5月25日)について、弔意を表した旨報告。

**日程第3 会期決定の件**を議題とし、今期定期例会の会期を本日から6月26日までの18日間と決定。

**日程第4 特別委員補欠選任の件**を議題とし、欠員中の地方分権・行政改革問題調査特別委員に平野明彦議員(自民)を補欠選任することについて簡易採決を行い、異議なく決定。

**日程第5 議案第1号ないし第35号、報告第1号及び第2号を議題とし、知事から提出議案について説明。**

日程第5のうち、議案第1号ないし第5号を先議することについて、異議なく決定し、議事進行の都合により午前10時39分休憩。午後2時3分再開し、質疑に入り、清水誠一議員(自民)から質疑、知事から答弁。同議員から再質疑、知事から答弁。平出陽子議員(民主)から質疑、知事から答弁。大橋晃議員(共産)から質疑、知事から答弁。同議員から再質疑、知事から答弁。同議員から発言があつて質疑を終結。委員会付託を省略の上、討論に入り、萩原信宏議員(共産)から議案第1号に関する反対討論があつて討論終結。

採決に入り、先議案件のうち議案第1号を問題とし、起立多数をもって、原案可決(共産反対)。

議案第2号ないし第5号を問題とし、異議なく原案可決。

**日程第6 決議案第1号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上、採決に入り、異議なく原案可決。**

議案調査のため、6月10日から6月12日まで休会することに決定して、午後4時7分散会。

○ 6月15日(月) 午後2時16分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第6号ないし第35号、報告第1号及び第2号を議題とし、質疑並びに一般質問に入り、**

神戸 典臣議員(自民)から、

- 1 北海道開発について
  - ・北海道開発に当たっての知事の考え方
  - ・道民世論を結集し、オール北海道で邁進するための具体的な手立て
  - ・第3次北海道長期総合計画の達成に対する判断と対処策
  - ・北海道発展の起爆剤となるプロジェクトの必要性
- 2 産業クラスターへの取り組みについて
  - ・産学官のネットワークのうち「学」の問題に対する認識と対応策
  - ・道立試験研究機関の共同研究及び体制の整備
  - ・今年度の補正予算で道立試験研究機関の研究予算の増額を図ることに対する見解
- 3 食糧備蓄基地構想について
  - ・大規模食糧備蓄基地構想推進協議会の取り組みに対する見解
- 4 苦東問題について
  - ・苦東開発の現状に対する道としての認識とこれからとの取組
- 5 國際経済交流について
  - ・最近の国際経済交流の取組状況について
  - ・ロシア極東地域や東アジア地域との新たな姉妹提携関係の締結についての見解
  - ・ロシアにおける貿易や投資環境の整備についての対処策
  - ・サハリン大陸棚開発関連事業への参入が円滑に進むような仕組みについての所見
  - ・韓国との経済交流を拡大する方策
- 6 新千歳空港について
  - ・これまでの国際貨物便の運行実績及び取扱貨物量
  - ・国際エアカーゴ基地計画構想についての認識及び今後の推進策
  - ・米国、シンガポール及び台北を結ぶ新規路線の開設についての見通し
  - ・シンガポール航空幹部に路線開設を要請した副知事の感触
  - ・24時間運用に係る地元合意の内容

- ・滑走路延長の支障となっている事由、着工までの手順及び着工の時期
- 7 高度情報社会の形成について
- ・本道における情報化の現状認識及び総合的な高度情報社会形成に向けた施策

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があり、午後3時21分休憩。午後4時42分再開し、議事の都合により午後4時43分延会。

○6月16日（火） 午前10時15分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により午前10時16分休憩。午後2時39分再開し、

**日程第1 議案第6号ないし第35号、報告第1号及び第2号**を議題とし、質疑並びに一般質問を継続し、知事から昨日の神戸典臣議員（自民）の再質問に対する答弁があり、同議員から発言。

岡田 俊之議員（民主）から、

#### 1 苦東開発問題について

- ・事態の悪化を招いた要因及び道が国に対して求めてきた抜本的対応策
- ・今日までの四者協議の内容と経過及び四者以外の関係他省庁等との協議の見通し
- ・土地保有の在り方に対する見解
- ・苦東開発に関する今後の見通し

#### 2 環境影響評価（アセス）条例について

- ・計画段階アセスについての認識、これまでの検討経過及び今後の対応
- ・アセス法の対象となる大規模事業にも道条例を適用することについての所見
- ・アセス法の手続きで求められる知事意見の確定プロセスを条例の手続に沿って行うことについての所見
- ・評価手法に関する所見
- ・条例違背行為についての対応

#### 3 環境ホルモンとダイオキシン対策について

- ・環境ホルモンに対する現状認識及び今後の取組
- ・ダイオキシン対策に係る研究体制及び技術開発
- ・母乳のダイオキシン濃度調査を実施し、道内の現状について住民に周知させる必要性
- ・ダイオキシン排出量基準をクリアするための市町村に対する指導
- ・最終処分場や搬出中における焼却灰の飛散防

#### 止措置

等について質問があり、知事から答弁。

**本間 勲議員（自民）**から、

#### 1 地方分権・行政改革について

- ・地方分権推進計画に対する感想
- ・地域の特色や独自性をより鮮明にした地域づくりについての所見
- ・分権推進計画に伴う事務量や事務執行体制等の変化についての予測調査を行う考えの有無
- ・これから時代に求められる道府県職員像
- ・人材育成の基本方針を策定する考えの有無及び具体的な策定のスケジュール
- ・職員研修所のあり方や整備の方向
- ・学習意欲が沸くような職場環境整備の現状と今後の整備方針
- ・人材育成の観点に立った人事異動策の構築
- ・職員の倫理観を養うための取組の必要性
- ・市町村職員の人材育成に対する道の協力及び相互連携
- ・行政改革大綱を見直しする考えの有無
- ・平成8年度及び9年度における入札・契約手続きの透明性を高めるための取組及び監査の状況
- ・平成8年度及び9年度における多様な入札方法の導入実績

#### 2 北海道の分割・分県化構想について

- ・北海道の分割・分県化構想についての所見
- ・検討経緯及び研究テーマとして取り上げる考えの有無
- 3 教育問題について

#### 3 教育問題について

- ・北海道教育委員会職員倫理綱領を制定した意図
- ・綱領の具体的運用にあたっての対処方法
- ・綱領の存在は法の下の平等に反しないか
- ・公務員倫理法制定にあわせ綱領を改正する考えの有無

- ・地域人材の活用を図るシステムをつくることについての所見
- ・余裕教室を積極的に活用するための取組
- ・P T A活動の活性化についての所見
- ・中央教育審議会の中間報告についての受け止め
- ・中間報告の周知策
- ・陸上競技に対する現状認識と今後の振興策
- ・陸上競技振興のため陸上競技全道大会を開催すること等についての見解

等について質問があり、知事、総務部長、建設部長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時33分延会。

○6月17日（水）午前10時49分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 報告第36号ないし第38号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。**

日程第1 報告第36号ないし第38号にあわせ、

**日程第2 議案第6号ないし第35号、報告第1号及び第2号を一括議題とし、質疑並びに一般質問を継続。**

**伊藤 政信議員（民主）から、**

### 1 難病対策について

- ・難病問題対策検討会議の具体的検討事項、結論を出す時期及び施策への反映方法
- ・北海道難病センターの機能強化及び施設整備について難病問題対策検討会議で検討することについての所見
- ・在宅難病患者対策の充実に対する所見
- ・在宅低肺機能患者に対する支援制度の内容
- ・難病医療の拠点となる病院や、地域における協力病院の整備についての取組

### 2 自主・自律化推進プランについて

- ・構造改革を進める検討体制
- ・（財）北海道地域技術振興センターに設置されたクラスター事業部の事業進捗状況
- ・産業クラスターへの支援体制と事業の今後の見通し
- ・北海道版P F Iについての所見

### 3 農業問題について

- ・農政の基本理念についての所見
- ・農業・農村が有する多面的機能の評価結果についての見解
- ・農業・農村の多面的機能維持という観点から

直接所得補償政策を導入することについての所見。

・基本法制定に向けた今後の取組みについての決意

等について質問があり、知事から答弁。

**釣部 勲議員（自民）から、**

### 1 農業の振興について

- ・北海道米の価格の現状についての認識
- ・値幅制限の撤廃による米価暴落の歯止め策
- ・農地を取り巻く現状についての基本的認識
- ・本道における耕作放棄地の最近の動向及び地域別の状況
- ・未利用地や耕作放棄地が発生する原因
- ・耕作放棄地への対応
- ・農地パワーアップ事業の進捗状況及び市町村の要望への対応
- ・農業の新たな担い手となる農家子弟の就農促進策及び最近の就農状況
- ・農協合併の状況
- ・農協合併に関し道がこれまで系統組織に対して行ってきた指導援助及び今後の取組

### 2 石炭、産炭地域振興対策について

- ・太平洋炭鉱の存続に向けての取組
- ・産炭地域振興審議会の概要と道としての取組
- ・空知5市1町の振興対策の重点
- ・空知5市1町以外の6条市町村の振興対策

等について質問があり、知事、経済部長及び農政部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、議事進行の都合により午後零時14分休憩。午後1時35分再開し、

**西田 昭紘議員（民主）から、**

### 1 幌延問題について

- ・幌延問題に関する知事公約と科学技術庁からの申し入れへの対応についての所見
- ・貯蔵工学センター計画の白紙の具体化に関する国の対応についての検証

### 2 サハリン州との交流促進について

- ・今回のサハリン州訪問の成果と友好・経済協力に関する提携についての具体的スケジュール
- ・樺太関係者がサハリン本島へ訪問する機会の拡大についての所見
- ・機能強化も含めたユジノサハリンスク事務所の在り方に関する再検討

### 3 緑の効用を活かした児童・生徒の育成について

- ・森林利用施設整備にあたっての基本方針
- ・児童・生徒による森林利用施設の利用促進に対する取組
- ・自然と触れ合うことの教育上の効果についての認識及び自然を活用した体験学習に取り組む考えの有無
- ・教員の資質向上に向けた取組

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。

**鎌田 公浩議員（自民）** から、

### 1 民間活力の効果的活用について

- ・平成10年度政策検討プロジェクトのテーマの一つとして、北海道における民間活用の効果的活用方策を選定した理由
- ・道が行ってきた民活についての整理状況
- ・現時点でのPFIに対する認識
- ・PFIと第三セクターの相違
- ・北海道版PFI導入にあたっての民間リスク負担軽減策
- ・プロジェクトチームの今後の検討スケジュール

### 2 観光行政について

- ・観光振興予算のシェア及び当初予算で総合的な観光振興対策を講じなかつたことについての見解
- ・積極的な観光振興策の必要性及び今後の観光振興策の進め方
- ・国の管理空港を含めた空港使用料引き下げについての所見
- ・定期的に観光消費額調査を行う必要性
- ・地域の観光振興対策に対する道としての対策
- ・北海道観光PR専用のホームページ整備についての所見
- ・道独自の観光振興基本条例制定についての見解
- ・国際会議の誘致活動強化及び誘致にあたつての優遇策を講ずる必要性

### 3 2000年サミット誘致について

- ・北海道としてサミット誘致の意思表示を行うことについての所見と誘致に向けての取組

等について質問があり、知事及び経済部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、議事進行の都合により、午後2時47分休憩。午後3時32分再開し、

**瀬能 晃議員（新道政）** から、

### 1 中心市街地の活性化について

- ・中心市街地の商店街を取り巻く状況に対する

認識及び今後の商店街振興対策

### 2 雇用問題について

- ・企業家精神に富む新しい中小企業の創出に対する道の取組
- ・新規成長産業を育成する具体的戦略
- ・航空機整備工場の誘致についての取組

等について質問があり、知事及び経済部長から答弁。

**永井 利幸議員（自民）** から、

### 1 道民の森に関する諸問題について

- ・道民の森計画の内容変更にあたり本会議で了解を得る必要性
- ・道が事業主体である事業についての結果を先に出さなかつたことについての見解
- ・当初計画における民活事業についての考え方
- ・基本計画策定時におけるダム計画の存在及びダムの用途についての認識
- ・民活の説明会から現状までの経緯・経過
- ・三者会談の内容
- ・北海道環境影響評価条例の内容
- ・環境影響評価結果についての理解と判断
- ・環境アセスメント評価についての意見の解釈、附帯意見の内容及び企業の対応結果
- ・事業者が提出した環境影響評価書と北海道における環境影響評価制度のあり方との整合性
- ・保安林解除に反対する者の反対理由の詳細
- ・水源かん養保安林解除の状況及び解除が可能な理由
- ・検討評価調書における当別町への対応及び当別町に対する具体的振興策
- ・事業者に対し道費で損害賠償する考えの有無
- ・冬期利用の促進に向けた具体的な検討内容
- ・副知事が企業に申し出た内容
- ・企業側の条件の詳細

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があり、議事進行の都合により午後4時40分休憩。午後4時41分再開し、議事進行の都合により午後4時42分延会。

○ 6月18日（木） 午前10時24分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により午前10時25分休憩。午後4時3分再開し、議事の都合により、午後4時4分延会。

○ 6月19日（金） 午前11時49分開議、諸般の

報告の後、

**日程第1 議案第6号ないし第35号、報告第1号、第2号及び第36号ないし第38号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続。知事から6月17日の永井利幸議員（自民）の再質問に対する答弁。**

**板谷 實議員（21'道民）から、**

1 総合経済対策への取組姿勢について

- ・今回の総合経済対策への取組姿勢と、今年第1回定例会で述べた「中央依存、公共事業依存からの脱却」との整合性
- ・国と道の取組姿勢の相違について
- ・第2次産業に対し、前向きの対策を考えない理由

2 観光産業について

- ・食中毒対策等、観光にとってネガティブな要素を減らす取組

3 北海道の自主・自立について

- ・外国人子弟の教育の場を確保する等、外資系企業誘致を進めるための条件整備についての見解
- ・国が抱える政策課題を道として引き受けることについての所見
- ・北海道に巨大国際空港を建設することについての所見

等について質問があり、知事から答弁。同議員から発言があり、議事進行の都合により午後零時26分休憩、午後1時40分再開し、

**船橋 利実議員（自民）から、**

1 少子化対策について

- ・本道における少子化の現状と出生率低下による人口減少についての認識
- ・現在及び将来における少子化の影響
- ・長期的スパンでの人口推計と道内地域別にみる合計特殊出生率の現状
- ・北海道の合計特殊出生率が他の府県より低い理由
- ・育児休業制度等、子供を生み育てる環境や体制づくりについての認識と取組
- ・育児休業制度を有する企業に道として融資や補助を行う制度を導入することについての見解
- ・乳幼児医療を取り巻く環境についての現状や動向についての見解
- ・乳幼児医療費の助成についての見解
- ・人口教育に対する認識と今後の取組

・子供が一年を通じ四季を感じながら遊べる場所や施設の整備策とこれまでの取組状況

・子供達にとって危険な道路環境の実態と改善策

・本道における保育所の現状と課題

2 優良道産品推奨制度について

・優良道産品推奨制度の成果と役割の変化及び現在の位置付けについての認識

・優良道産品推奨制度の対象となっている企業、件数及び内容の最近の傾向

・農産物を優良道産品の対象とすることについての所見

・優良道産品の販売実績

・優良道産品推奨協議会に未加盟の自治体がある理由と加盟の障害となっている事由

・加盟に向けた道の要請等の取組

・加盟市町村における優良道産品の利用状況

・道としての利用実績や庁内への周知方法の現状及び道としての利用促進策

・優良道産品推奨制度と観光振興策のリンクについての所見

・庁内における優良道産品の優先使用推進に向けた取組の成果と実態調査の結果

・優良道産品の道内流通業界における取扱状況と販売状況及び消費者側の優良道産品に対する意識等についての調査方法

・販売店サイドの協力を得るための取組

・推進協議会の組織の在り方に関する見解

等について質問があり、知事、保健福祉部長、経済部長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

**加藤 和久議員（自民）から、**

1 指定金融機関と道内金融状況について

・指定金融機関の指定の手順

・指定金融機関の指定に係る知事の記者会見での発言の真意

・指定の態度を早期に表明することについての所見

・指定金融機関の検討を早急に行うことについての所見

・指定金融機関選定の指針

・指定金融機関に期待する事柄

・金融機関の支店の統廃合及び道外銀行や外資系銀行の本道への進出状況

・道内資金の道外への流出状況

- ・北洋銀行による拓銀の業務承継が道内の金融体制再構築を促し道外流出資金の還流に結ぶ付く可能性の有無
  - ・道内金融機関の貸出債権の健全性についての状況把握
  - ・道内の金融システム安定に対する取組
  - ・金融ビッグバンの本格化に向け所管の組織機構改革を行う必要性
- 2 人口激変期の諸課題と地方財政問題について
- ・道北圏など4つの地域生活圏で人口減少が予想されていることについての認識
  - ・現過疎法の次期対策に向けての取組
  - ・均衡ある発展に向けた国や道の対応についての見解
  - ・地方財政制度についての認識
  - ・人口の減少が市町村財政に与える影響についての認識
  - ・地方交付税の算定に北海道の特殊性を十分反映させるために道が行っている取組内容
  - ・地方交付税の算定にあたり面積を重視するよう国に働きかけることについての見解
  - ・地方分権推進計画で創設される地方交付税の算定方法に対する地方公共団体の意見の申し出制度の活用方策と国への働きかけ
  - ・地方税財源の充実強化のために企業本社所在地に税収が集まる制度そのものを是正をする必要性についての認識
  - ・地方税財源の充実強化に向けた具体的な取組
- 3 地方労働行政について
- ・地域重視政策の一翼を担う地方労働行政の役割についての認識
  - ・地域人材開発センターの現状と役割についての認識
  - ・転換前の学院との比較でみる道費の支出状況と訓練実績
  - ・地域人材開発センターに対し補助金交付期限後も積極的な支援策をとることについての所見
- 4 選挙管理委員会の取り組むべき課題について
- ・投票率低下に対する選挙管理委員会の認識
  - ・選挙管理委員会の参議院通常選挙における投票率向上に対する取組
  - ・道議会議員選挙における選挙公報発行の意義についての認識、制度化に至った経緯及び実行に当たり留意が必要な事項についての対処

等について質問があり、知事、総務部長、経済部長及び選挙管理委員会委員長より答弁。同議員より発言があつて議事進行の都合により、午後3時40分休憩。午後3時56分再開し、

**石井 孝一議員（自民）から、**

- 1 財政問題について
    - ・税及び租税負担についての基本的認識
    - ・道路状況の改善に伴い自動車税の積雪軽減措置の見直しを行う必要性
    - ・道の経常経費の具体的節減策
    - ・病院事業会計を赤字体质から脱却させるための抜本的な対応策を検討することについての所見
    - ・道債残高縮小のため売却可能な不要物件を売却することについての見解及び物件別の件数
    - ・道債残高の増加に対する基本的な対処策
    - ・既に目的を達成した企業局所管の電気事業を民間に売却することについての所見
    - ・外郭団体に対する補助金についての対策
  - 2 札幌医科大学問題について
    - ・札幌医科大学のキャンパスと附属病院の環境整備についての見解
    - ・仮称診療研究医制度の創設等研修生の待遇環境改善を図る考えの有無
    - ・PET（ポジトロン放出断層撮影装置）についての認識及び早期にPETを整備する考えの有無
  - 3 緑化樹の需給安定対策について
    - ・10年前との比較でみる本道における緑化樹生産者数、緑化樹の苗畠面積及び出荷本数の推移
    - ・緑化樹の需要動向の把握及び生産者への情報提供に向けた道としての取組
    - ・北海道緑化センター基本構想策定にあたっての検討内容及び基本構想における同センターの位置付け
    - ・北海道緑化センターの役割の具体的内容及び設置場所
    - ・見本園の整備にあたり道有林管理センターの苗畠等も候補として検討する必要性
- 等について質問があり、知事、総務部長及び公営企業管理者から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時46分延会。

○ 6月22日（月） 午前10時49分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第6号ないし第35号、報告第1号、第2号及び第36号ないし第38号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続。

山口 真人議員（自民）から、

- 1 補正予算提案の経緯に係る混乱の責任について
  - ・第3回定例会で提案する予定であった、エキノコックス症対策予算と文教予算を今定例会に提案した理由
- 2 補正予算の先議について
  - ・経済対策関連予算を残余の案件と切り離して先議した理由

等について質問があり、知事から答弁。同議員から発言。

村井 宣夫議員（21'道民）から、

- 1 農業問題について
  - ・新基本法制定に向けて続けてきた要請の経過及び今後の取り進め方
  - ・中間取りまとめ課題となっている4つの問題についての道内の意見集約状況
  - ・WTO再交渉に向けての道としての対応及び決意
- 2 環境問題について
  - ・改正された産業廃棄物の処理に係る指導指針についての基本的考え方
  - ・道外産業廃棄物の持ち込みに対する基本的な考え方
  - ・産業廃棄物処理施設の規制強化に併せ不法投棄防止策を強化することについての見解
  - ・クリーン農業施策を充実強化し道産農產品のイメージアップを図っていく必要性
  - ・道産農產品のクリーンさをPRするために、農薬の使用量を判断する基準とそれらを表示する道独自のシステムを作る取組
  - ・農業者の環境保全に向けた自主的な取組みに積極的に参画していくことについての所見

等について質問があり、知事から答弁。

荒島 仁議員（公明）から、

- 1 経済問題について
  - ・今後の北海道経済の見通しと認識及び今秋以降、道が重点的に講ずる経済対策
  - ・総合的経済対策の一環として個人消費の回復を図るために対策を検討することについての所見
  - ・雇用創出行動計画を実効性あるものとして策定し、緊急雇用対策として早期に実現すること

についての所見

## 2 保健福祉問題について

- ・今年度における道民福祉の日に係る具体的取組
- ・今日の深刻な少子化に対する認識及びその要因分析
- ・保育所の入所待機児童解消に向けての取組及び今後の入所待機児童の見通し
- ・低年齢児保育対策等エンゼルプランの達成に向けた今後の取組
- ・高度救命救急センター整備に対するこれまでの取組及び今後のスケジュール
- ・移転改築を含めた道立衛生学院に対する今後の方針
- ・知事公約である医療技術者等の総合養成研修センター設置についての見通し

## 3 環境問題について

- ・北海道環境基本計画の重点施策である廃棄物の減量化・リサイクル及び適正処理の総合的推進策についての今後の取組
- ・クリーン環境推進事業の今後の事業展開
- ・総合的な産業廃棄物対策の推進に係る今後の具体的取組
- ・環境ホルモンに対する積極的な取組

## 4 農業問題について

- ・新基本法制定に向けた国の今後の検討スケジュール及び具体的な検討内容等の把握状況
- ・新基本法制定に向けた今後の取組
- ・道北地域の酪農振興に対する取組状況と今後のスケジュール

## 5 教育問題について

- ・健康教育に係る本年度実施事業と児童生徒の問題行動の実態及び解決に向けての取組
- ・健康教育の充実に対する所見
- ・性及び薬物にかかる指導についての取組
- ・健康教育に位置付けた禁煙教育の推進についての所見

等について質問があり、知事及び教育長より答弁があつて、議事進行の都合により、午後零時31分休憩。午後2時31分再開し、

山田 駿太郎議員（新道政）から、

## 1 本道の交通行政について

- ・地域の交通体系と生活交通体系の整備についての所見
- ・バス事業者に対する市町村の財政負担について

ての所見

- ・地域生活バスの事業者に安全性確保の観点から指導を行う必要性
- ・地域生活バスの運賃や運行回数等に対する道としての所見と対応
- ・地方バス路線維持に対する支援策の見通し及び市町村が自主的に運行するバス路線に対する支援方策
- ・帯広圏における民営バス（JRバス）路線撤退後の道としての対応
- ・一定の地域運輸行政に関する政策立案と管理権限を総合的に地方自治体に委ねることについての所見

等について質問があり、知事から答弁。

**萩原 信宏議員（共産）から、**

1 知事の政治姿勢について

- ・インドとパキスタンの核実験に抗議するだけでなく核保有5カ国に対しても核廃絶に向けた行動をとることについての所見
- ・道における職員の配置及び幹部への登用基準
- ・各部代表課長の多くが管理部門の出身者で占められている理由
- ・人事登用の改善に向けた検討策
- ・女性の幹部職員登用状況と今後の改善
- ・女性幹部職員が少ない理由及び女性を部長や副知事に登用する考えの有無
- ・単身赴任している道庁職員の負担軽減策

2 道民生活について

- ・視覚障害者の日常生活用具に多機能電子手帳を加えることについての国への要請
- ・難病対策につき道費で無料化を継続することについての見解
- ・難治性肝炎患者の継続打切り例と支給者証未交付数及び未交付が生じた理由
- ・慢性肝炎に係る継続申請の判定基準が準拠しているもの及び厚生省研究班の診断基準に基づく認定を行うことについての見解
- ・在宅低肺患者の電気料金に対する助成額
- ・ごみ処理場のあり方を考えるために旭川市江丹別ごみ処理場の調査を行うことについての所見
- ・野幌森林公園の休養園地に係る整備基本計画を改訂した際の説明責任
- ・野幌森林公園整備に際しオオタカの調査に着手すること及び住民からの説明会開催の要望

に対する対応

- ・静内サティ進出に際する建築基準法但書適用にあたっての経緯
- ・当面、大型店進出を抑え、町づくり計画を優先させることについての見解
- ・アイヌに返還する共有財産の件数及び額
- ・提示した金額の評価
- ・道から該当者に対して積極的に連絡をとる考え方の有無
- ・アイヌ共有財産に関する資料の全面公開と全面的調査を行う考え方の有無

3 一次産業の振興について

- ・米の値幅制限撤廃に反対し平成8年当時の水準に戻すよう国に求めることについての見解
- ・政府米として最低百万トンの買入を求める考え方の有無
- ・道独自に米の価格補填をする考え方の有無

4 教育問題について

- ・少子化に鑑み学級規模を縮小する考え方の有無
- ・国や他県の自治体での少人数学級化の動きについての所感
- ・道独自に30人学級化を進める考え方の有無
- ・高等部での訪問教育の対象年齢を広げることについての見解

等について質問があり、知事、保健福祉部長及び教育長より答弁。同議員から再質問があり、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。議長から会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言。

**小田原 要四藏議員（社民）から、**

1 幌延問題について

- ・国に幌延計画を白紙に戻すよう要請した事実関係の有無及び有った場合の国の回答と知事の受け止め
- ・国の平成6年原子力長計と昭和59年の放射性廃棄物処理処分についての中間報告との整合性及び高レベル核廃棄物の最終処分場の現状
- ・幌延の深地層試験場を核廃棄物の処理・処分に関連する施設と認識しているか否か
- ・幌延問題の本質についての見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があつて質疑並びに一般質問を終結。

議長から予算及び企業会計決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもつて構成する予算特別委員会及び19人の委員をもつて構成する企

業会計決算特別委員会を設置し、関係案件を両特別委員会にそれぞれ付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（31人）

蝦名 清悦（民主）	荒島 仁（公明）
加藤 礼一（自民）	喜多 龍一（自民）
原田 裕（自民）	本間 眞（自民）
村井 宣夫（21'道民）	山田 驚太郎（新道政）
西田 昭紘（民主）	星野 高志（民主）
伊藤 政信（民主）	高橋 由紀雄（民主）
上田 茂（新道政）	板谷 實（21'道民）
川村 正（自民）	清水 誠一（自民）
釣部 真（自民）	山崎 正隆（自民）
高橋 文明（自民）	永井 利幸（自民）
野呂 善市（自民）	小野寺 勇（自民）
吉田 恵悦（公明）	吉田 栄（民主）
井野 厚（民主）	土田 弘（民主）
大橋 晃（共産）	輪島 幸雄（民主）
畠山 博（自民）	久田 恒弘（自民）
吉田 政一（自民）	

○企業会計決算特別委員（19人）

荒島 仁（公明）	喜多 龍一（自民）
原田 裕（自民）	前田 康吉（新道政）
滝口 信喜（民主）	萩原 信宏（共産）
伊藤 政信（民主）	段坂 繁美（民主）
清水 誠一（自民）	山崎 正隆（自民）
高橋 文明（自民）	和田 敬友（自民）
風早 俊男（21'道民）	土田 弘（民主）
長沢 徹（民主）	西本 美嗣（民主）
畠山 博（自民）	桜井 外治（自民）
川口 常人（自民）	

残余の案件については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、6月23日から6月25日まで休会することに決定して、午後4時15分散会。

○6月26日（金）午前11時59分開議、諸般の報告の後、議長から元議員大久保和男氏の逝去（6月23日）について弔意を表した旨報告。

日程第1 議案第6号ないし第35号、報告第1号及び第2号を議題とし、予算特別、総務、保健福祉、建設、水産林務の各委員長又は副委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の

経過と結果について報告。討論に入り、大橋晃議員（共産）から、議案第10号、第13号ないし第15号、第17号及び第27号ないし第33号に関する反対討論並びに議案第6号に関する賛成討論があつて討論終結。採決に入り、まず議案第10号、第13号ないし第15号、第17号及び第27号ないし第33号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもつて委員長報告のとおり可決（共産反対）。次に議案第6号ないし第9号、第11号、第12号、第16号、第18号ないし第26号、第34号、第35号、報告第1号及び第2号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり可決、報告は承認議決。

日程第2 議案第36号ないし第38号を議題とし、知事から、O-157に関する対応についての発言並びに追加提出議案について説明の後、委員会付託を省略の上採決に入り、まず議案第36号を問題とし起立採決の結果、起立多数をもつて同意議決（共産反対）。次に議案第37号及び第38号を問題とし、いずれも異議なく同意議決。

日程第3 決議案第2号及び第3号を議題とし、説明及び委員会付託を省略の上採決に入り、いずれも異議なく原案のとおり可決。

日程第4 意見案第1号ないし第5号を問題とし、説明及び委員会付託を省略の上採決に入り、いずれも異議なく原案のとおり可決。

日程第5 請願・陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上採決に入り、いずれも異議なく請願・陳情審査報告書（採択2件）のとおり決定。

閉会中継続審査の件について、企業会計決算特別委員長から申出のとおり報告第36号ないし第38号を閉会中継続審査に付することに決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長及び議会運営委員長から申出のとおり閉会中継続審査及び調査に付することに決定。

今定例会に付議された案件は、報告第36号ないし第38号を除きすべて議了。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後零時32分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について、ご報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、6月22日に設置され、平成10年度一般会計補正予算案が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正副委員長の互選を行うとともに、二分科会を設置し、案件を付託した次第であります。各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行い、6月23日から各部所管の審査に入り、6月24日をもって各分科会の質疑を終了し、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により、御承知願いたいと存じます。

本委員会としては、6月25日、本案件について意見の調整を図りました結果、議案第6号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

1、このたび、根室管内の特定業者が製造したイクラから、腸管出血性大腸菌O-157が検出されたことは誠に遺憾であり、その汚染原因を迅速かつ正確に解明するとともに、かかる食中毒事件の再発防止に万全を期すべきである。あわせて、道産イクラはもとより、道産品に対するイメージの低下を招かないよう、時宜を失すことなく、積極的な対策を講じるべきである。

1、現在、検討されている産学官融合センター(仮称)については、道としても、その設置計画に積極的に参画し、その目的や機能が十分発揮されるよう、国等に対し要請するとともに、設置主体となる経済界の自主性を尊重しながら、道のかかわりについても十分検討すべきである。

との意見を付されたい旨の動議が提出され、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

## 第2回定例会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 9	1	平成10年度北海道一般会計補正予算（第1号）		6. 9	原案可決
同	2	平成10年度北海道有林野事業特別会計補正予算（第1号）		同	同
同	3	平成10年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）		同	同
同	4	平成10年度北海道流域下水道事業特別会計補正予算（第1号）		同	同
同	5	平成10年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）		同	同
同	6	平成10年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予算特別	6. 26	同
同	7	北海道議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例案	総務	同	同
同	8	北海道介護支援専門員実務研修受講試験手数料条例案	保健福祉	同	同
同	9	附属機関の整理等に関する条例案	総務	同	同
同	10	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	11	低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	12	北海道議会議員及び北海道知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	13	北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	保健福祉	同	同
同	14	北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	15	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	同	同
同	16	北海道道の路線の認定に関する件	同	同	同
同	17	特定多目的ダム法に基づく滝里ダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件	同	同	同
同	18	弁護士報酬の負担に関する件	総務	同	同
同	19	工事負担契約の締結（北方四島交流施設〔仮称〕新築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	20	工事負担契約の締結（北方四島交流施設〔仮称〕新築工事〔第2工区〕）に関する件	同	同	同
同	21	工事請負契約の締結（北海道漁港実験室改築工事〔第1工区〕）に関する件	水産林務	同	同
同	22	工事請負契約の締結（北海道漁港実験室改築工事〔第2工区〕）に関する件	同	同	同
同	23	工事請負契約の締結（道道多度志一己線道路改良〔多度志トンネル〕工事）に関する件	建設	同	同
同	24	工事請負契約の締結（北海道立ゆめの森公園ビジターセンター建築工事）に関する件	同	同	同
同	25	工事請負契約の締結（道道音調津陣屋線美幌橋新設〔上部工〕工事）に関する件	同	同	同
同	26	工事請負契約の締結（道道岩見沢石狩線大沼橋新設〔上部工場製作工〕工事）に関する件	同	同	同
同	27	工事委託契約の締結（函館湾流域下水道函館湾浄化センター・上磯中継ポンプ場建設工事）に関する件	同	同	同
同	28	工事委託契約の締結（幌延町特定環境保全公共下水道処理場建設工事）に関する件	同	同	同

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 9	29	工事委託契約の締結（知内町特定環境保全公共下水道処理場建設工事）に関する件	建設	6. 26	原案可決
同	30	工事委託契約の締結（遠別町特定環境保全公共下水道処理場建設工事）に関する件	同	同	同
同	31	工事委託契約の締結（寿都町特定環境保全公共下水道処理場建設工事）に関する件	同	同	同
同	32	工事委託契約の締結（喜茂別町特定環境保全公共下水道処理場建設工事）に関する件	同	同	同
同	33	工事委託契約の締結（赤井川村特定環境保全公共下水道処理場建設工事）に関する件	同	同	同
同	34	船舶建造請負契約の締結に関する件	水産林務	同	同
同	35	財産の取得（物品・化学消防自動車1台・新紋別空港用）に関する件	建設	同	同
6. 26	36	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件	建設	同	同意議決
同	37	北海道収用委員会委員及び北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	38	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

#### 報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 9	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道税条例の一部を改正する条例、平成10年3月31日専決処分）	総務	6. 26	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（北海道税条例の一部を改正する条例、平成10年5月29日専決処分）	同	同	同
同	3	平成9年度北海道継続費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	4	平成9年度北海道縁明許費繰越計算書報告の件			同
同	5	平成9年度北海道病院事業会計予算繰越計算書報告の件			同
同	6	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	7	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	8	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	9	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	10	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	11	社団法人北海道炭炭地域振興センターの経営状況に関する件			同
同	12	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	13	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	14	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	15	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	16	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	17	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	18	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			同
同	19	財団法人北海道高齢者問題研究協会の経営状況に関する件			同
同	20	財団法人北海道森林整備公社の経営状況に関する件			同
同	21	財団法人食の祭典委員会の経営状況に関する件			同
同	22	財団法人北海道住宅管理公社の経営状況に関する件			同

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 9	23	財団法人北海道長寿社会振興財團の経営状況に関する件			報告のみ
同	24	財団法人道民活動振興センターの経営状況に関する件			同
同	25	財団法人北海道暴力追放センターの経営状況に関する件			同
同	26	社団法人北海道栽培漁業振興公社の経営状況に関する件			同
同	27	財団法人北海道建設技術センターの経営状況に関する件			同
同	28	財団法人北海道科学・産業技術振興財團の経営状況に関する件			同
同	29	財団法人北海道公営企業振興協会の経営状況に関する件			同
同	30	財団法人新千歳空港周辺環境整備財團の経営状況に関する件			同
同	31	財団法人北海道環境財團の経営状況に関する件			同
同	32	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の経営状況に関する件			同
同	33	土地信託の事務処理状況に関する件			同
同	34	専決処分報告の件（工事請負契約の変更に関する件、工事請負契約の締結〔平成8年10月7日議決を経た議案第45号に係るもの〕平成10年5月22日専決処分）			同
同	35	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成10年3月27日168件、平成10年4月16日1件、平成10年4月24日2件、平成10年4月28日2件、平成10年4月30日1件、平成10年5月7日8件、平成10年5月11日1件、平成10年5月15日2件、平成10年5月18日9件、平成10年5月20日1件、平成10年5月22日3件、平成10年5月27日4件、平成10年6月1日2件専決処分）			同
6. 17	36	平成9年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別		継続審査
同	37	平成9年度北海道電気事業会計決算に関する件	同		同
同	38	平成9年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同		同

## 第2回定例会において議員から提出のあった案件

### 決議

提出月日	番号	件 名	提出者	議決月日	議事結果
6. 9	1	インドとパキスタンの核実験に抗議し、国際平和を希求する決議	清水 誠一議員ほか7人	6. 9	原案可決
6. 26	2	北海道とロシア連邦・サハリン州との友好・経済協力促進に関する決議	勝木 省三議員ほか8人	6. 26	同
同	3	西暦2000年主要国首脳会議（サミット）の北海道開催に関する決議	清水 誠一議員ほか7人	同	同

### 意見書

提出月日	番号	件 名	提出者	議決月日	議事結果
6. 26	1	抵当証券に係る消費者保護に関する意見書	長沢 徹議員ほか11人	6. 26	原案可決
同	2	痴呆性老人対策の充実に関する意見書	吉田 恵悦議員ほか12人	同	同
同	3	新しい食料・農業・農村政策の確立に関する意見書	石井 孝一議員ほか10人	同	同
同	4	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	山口幸太郎議員ほか13人	同	同
同	5	石炭鉱業の安定並びに産炭鉱地域の振興に関する意見書	石川十四夫議員ほか12人	同	同

## 決議

### 決議案第1号 インドとパキスタンの核実験に抗議し、国際平和を希求する決議

平成10年2定  
清水誠一議員ほか7人  
平成10年6月9日原案可決

本議会は、我が国が唯一の被爆国であることにかんがみ、あらゆる核実験と核兵器の開発に反対する。

核実験は、地球環境と生態系を破壊し、人類の生存を脅かす行為にはかならない。

しかるに、今回、インドとパキスタンが、国際社会の抗議の声を無視して地下核実験を強行したことは、極めて遺憾である。

本議会は、ここに改めて核兵器廃絶、国際平和への不斷の努力を誓うとともに、今回の両国の地下核実験に厳重に抗議する。

インドとパキスタンの両国は、直ちに核実験及び核兵器開発を停止し、無条件に核兵器不拡散条約及び包括的核実験禁止条約に参加するよう強く求める。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

### 決議案第2号 北海道とロシア連邦・サハリン州との友好・経済協力促進に関する決議

平成10年2定  
勝木省三議員ほか8人提出  
平成10年6月26日原案可決

北海道とサハリン州とは、地理的に近接し気候や風土が類似しているほか、歴史的にも深い関係にあり、近年は、これまでの学術・文化・スポーツなどの各分野における交流に加えて、サハリン大陸棚石油・天然ガス開発プロジェクトが本格的に動きだしたことなどに伴い、産業経済分野における相互交流の活発化も大いに期待されるようになってきたところである。

この交流機運の盛り上がりを受け、両地域の友好・経済協力に関する提携が早期に締結されることにより、それを契機として北海道とサハリン州との間により一層の交流と親善が深められるとともに経済協力の促進と両地域の相互発展と繁栄はもとより、日ロ両国の関係強化に寄与し、ひいては国際親善と世界平和に貢献できるものと期待するものである。

よって、本議会は、今後あらゆる機会を通じて北海道とロシア連邦・サハリン州が友好・経済協力に関する提携を早期に締結するよう積極的に取り組むものである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

## 決議案第3号 西暦2000年主要国首脳会議（サミット）の北海道開催に関する決議

平成10年2定  
清水誠一議員ほか7人提出  
平成10年6月26日原案可決

主要国首脳会議、いわゆるサミットは、世界の政治経済の方向性や重要な課題などへの対応について話し合われる会議であり、世界に向けて発せられる宣言は、世界の平和と繁栄を目指す大きな指針となつてている。

日本では、これまで東京において開催されてきたが、地方が積極的に世界と直接手を携え、国際交流や国際協力に取り組む今日、地域の国際化は時代の流れとなっており、地方都市において開催されることが望まれるところである。

北海道は、開拓と発展の歴史の中で、欧米諸国との繋がりが深く、近年においては、北方圏地域をはじめ、東アジア地域やロシア連邦・極東地域などと積極的に交流を進めるなど、国際貢献の一翼を担い得る、世界に開かれた地域づくりを積極的に進めているところである。

日本で有数の機能をもつ新千歳空港を玄関口として、高度な都市機能を有する国際都市・札幌や、雄大な自然をあわせもつ北海道においてサミットが開催されることは、21世紀に向けた日本の多様性と可能性を世界にアピールするうえで、誠に意義深いものである。

よつて、本議会は、西暦2000年サミットの北海道における開催を強く要望する。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

## 意見書

### 意見案第1号 抵当証券に係る消費者保護に関する意見書

平成10年2定  
長沢 徹議員ほか11人提出  
平成10年6月26日原案可決

北海道唯一の都市銀行である㈱北海道拓殖銀行は、昨年11月17日に経営破綻し、㈱北洋銀行などへ営業を譲渡することになり、続いて同月19日、同行関連のたくぎん抵当証券(㈱)が破産した。

このため、たくぎんは抵当証券(㈱)が販売していた抵当証券に係る元利金は、同証券を保管する抵当証券保管機構が債務者から回収し、同証券購入者に弁済することになったが、弁済の長期化とともに債務者の返済能力や抵当不動産の処分価格の状況によっては、元利金の一部しか戻らない事態が予測されている。

抵当証券は、法的には購入者に元本を保障するものではない。

しかし、購入者に対する危険告知では、大いに問題があつたと言わざるを得ない。

これら抵当証券購入者は、全道で約4,200人に達し、大きな社会問題となっており、現在、抵当証券購入者の一部から買い戻し等を求める訴訟が提起されているが、購入者には、多くの高齢者が含まれている点を考慮すると1日も早い解決が望まれる。

よつて、政府におかれては、抵当証券に係る消費者保護の適切な措置を講ずるとともに、今後

抵当証券購入のトラブルを未然に防止するため、抵当証券の販売・勧誘方法の適正化を図られるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣 各通

## 意見案第2号 痴呆性老人対策の充実に関する意見書

平成10年2定  
吉田恵悦議員ほか12人提出  
平成10年6月26日原案可決

本格的な高齢社会の到来を迎え、要介護者の増加や家族の介護機能の低下などによる国民の介護への関心が高まる中で、とりわけ、痴呆性老人については痴呆の随伴症状やそれに由来する行動の異常等があるため、他の要介護老人とは異なった介護が必要であり、本人及び家族を支える社会的支援体制の整備が求められている。

しかしながら、現状において、痴呆性老人対策は寝たきり老人対策に比べ十分な施策化が図られておらず、介護する側、特に家族は多大な精神的、肉体的負担を強いられている。

北海道では、このような状況にかんがみ、痴呆性老人がその状態に応じ住みなれた地域や家庭の中で、適切な在宅及び施設サービスが利用できるような体制の確立を図ることを目指し、平成10年3月「北海道痴呆性老人対策推進方策」を策定し、保健・医療・福祉の連携のもとに各種の施策を積極的に推進していくこととしているが、そのためには国の財政的支援等が必要である。

よって、政府におかれては、痴呆性老人対策の充実を図る上で、特に緊要性のある次の事項を改善されるよう、強く要望する。

### 記

- 1 特別養護老人ホームに短期入所する場合、現行の職員数等の配置基準では、十分な介護は困難であるため、入所費用加算額の増額を図ること。
- 2 都道府県・指定都市1カ所づつで実施されている痴呆性老人処遇技術研修について、本道の広域性にかんがみ、その実施箇所をふやすこと。
- 3 痴呆性老人グループホームの運営費の拡充と施設整備に対する国庫補助制度を創設すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣 各通

## 意見案第3号 新しい食料・農業・農村政策の確立に関する意見書

平成10年2定  
石井孝一議員ほか10人提出  
平成10年6月26日原案可決

北海道農業は、恵まれた自然と豊かな土地資源を背景に現行の農業基本法のもとで着実な発展を遂げ、本道の経済を支える重要な産業として、生産性の高い專業的な農業経営を展開するとともに多面的な機能を発揮してきたが、担い手の不足や高齢化、さらには農産物価格の低迷や環境問題への対応に加えて国際化の進展に対する不安が高まるなど、農業・農村をめぐる情勢は極めて厳しい局面にある。

このような状況に加え、次期WTO交渉も迫る中で、本道農業・農村の持続的発展による安全で良質な食料の安定供給と活力ある農業・農村の確立のため、中長期的視点に立った確固たる政策理念の明示ときめ細かな施策の充実が必要である。

よって、国においては、次の事項を基本とした食料・農業・農村に関する新たな基本法を制定するよう強く要望する。

#### 記

- 1 国民が必要とする安全な食料を安定的に供給するため、食料自給率の向上など国内農業生産を基本とした食料安全保障政策を確立すること。
- 2 農産物の安定供給を初め洪水防止や景観保全、自然教育など農業・農村が有する多面的機能に対する国民の理解の促進と維持・増進を図る政策を確立すること。
- 3 本道のような大規模で生産性の高い專業的な農業地域に重点をおいた施策の展開を図ること。
- 4 経営感覚にすぐれた幅広い担い手の育成・確保と優良農地の有効利用を図る構造政策を確立すること。
- 5 専業的な農家が将来に希望を持って営農に取り組むことができるよう、直接所得補償制度等を導入し、抜本的な経営安定政策を確立すること。
- 6 環境への負荷の軽減や安全で良質な農産物の安定供給など持続的な農業の展開を図る環境保全型農業を積極的に支援する政策を確立すること。
- 7 生活環境の整備や就業機会の確保など定住条件の整備と都市との交流の促進など地域の活性化を図る総合的な農村地域政策を確立すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣 各通

#### 意見案第4号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

平成10年2定  
山口幸太郎議員ほか13人提出  
平成10年6月26日原案可決

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を図る制度として完全に定着しており、現行教育制度の重要な根幹をなしている。

しかしながら、政府は、昭和60年度以降義務教育費国庫負担制度の見直しを行い、旅費、教材費、恩給費を国庫負担の対象から除外したほか、平成5年度には共済費追加費用等について負担率の段階的引き下げを早めて、完全に一般財源化することとした。

さらに、平成11年度の予算編成においても、学校事務職員及び学校栄養職員の給与費が、国庫負担の対象から除外されることが懸念されるが、これが実施された場合は、厳しい地方財政に対し単に負担を増大させるにとどまらず、義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼすことが憂慮

される。

よつて、政府におかれては、学校事務職員・学校栄養職員等を国庫負担の対象からはずすことなく、現行義務教育費国庫負担制度を堅持されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、自治大臣 各通

## 意見案第5号 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書

平成10年2定  
石川十四夫議員ほか12人提出  
平成10年6月26日原案可決

本道の石炭鉱業は、「新しい石炭政策」のもと、坑内掘炭鉱は釧路市の太平洋炭鉱のみとなつている。

太平洋炭鉱は、地域の基幹産業として大きな役割を果たしているとともに、すぐれた生産・保安技術を産炭国に提供するなど、国際貢献を通じて海外炭安定供給の確保に大きく寄与していることから、我が国のエネルギー政策上、技術を継承する場としての太平洋炭鉱の維持存続は不可欠であると考えており、道民の総意としても太平洋炭鉱の長期存続を強く切望している。

また、産炭地域においては、過去の閉山の影響による人口の減少や財政の悪化、高齢化の進行など多くの課題を抱えながら、地域の活性化のための産業基盤や生活環境の整備を初め、地場産業の振興や企業誘致などに地方自治体と住民が一体となって懸命な努力を重ねている。

このため、産炭地域振興臨時措置法の期限切れとなる平成13年度に向けて、抜本的な産炭地市町村の財政支援対策が急務となっており、その上で「産炭地域振興実施計画」を着実に実行し、地域の経済的・社会的疲弊を払拭し、総合的な振興を図ることが強く求められている。

については、このような本道の石炭鉱業並びに産炭地域の厳しい実情をご理解いただき、平成11年度の予算編成並びに今後の施策の実施に当たり、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

### 記

#### 1 石炭対策財源の確保

「石炭並びに石油及びエネルギー需給構造高度化対策特別会計」の特定財源による石炭関係予算の安定的な確保を図るとともに、石炭鉱業安定対策並びに産炭地域振興対策への安定確保を図ること。

#### 2 太平洋炭鉱の長期存続

- (1) 世界的な石炭需要の増加と我が国への安定供給の確保のため、太平洋炭鉱が培ってきた石炭技術の果たす役割はますます重要となることから、その存続を図ること。
- (2) 海外炭鉱に対する国際的技術協力等を通じて、世界の石炭需給の安定と、我が国への石炭安定供給確保に資するため、現存炭鉱の施設等を活用した石炭技術の研究開発・研修機能を有する「(仮称) 国際石炭技術交流センター」を本道に設置すること。

#### 3 現存炭鉱存続のための各種施策の充実強化

現存炭鉱の安定を図るため、需要の確保、適切な炭価の設定、各種助成措置の充実強化、炭鉱会社の経営多角化等に対する支援などの措置を講ずること。

#### 4 産炭地域振興対策の強化

産炭地域の振興を図るため、産炭地域振興実施計画の実効性の確保、空知地域振興基本構想の実現、地域活性化対策の促進、街づくりに関する炭鉱会社への指導、消防総合訓練センターや簡易保険福祉施設等公的施設の設置、ぼた山対策などの措置を講ずること。

#### 5 地方自治体への財政支援

産炭地域振興臨時措置法に基づく財政支援措置の拡充強化、起債の借りかえ許可による財政対策、産炭地域振興臨時交付金制度の拡充強化、地方交付税制度の拡充強化などの措置を講ずること。

#### 6 産炭地域総合発展機構の機能の充実及び設立

空知2市6町における中核的事業主体の設立並びに空知及び釧路産炭地域総合発展機構の機能の充実を図ること。

#### 7 地域振興整備公団の機能強化等

新規工業団地の造成、住宅団地造成事業、炭鉱跡地の整備・再開発事業など産炭地域振興業務の機能強化を図ること。また、企業誘致促進のため、各種融資制度の拡充等を図ること。

#### 8 雇用対策

雇用の安定等を図るため、石炭会社の経営の多角化・新分野開拓に伴う職業転換訓練、配置転換、出向等に対する助成制度の強化による失業予防対策を図るとともに、地元雇用の創出に配慮すること。

#### 9 石炭関係優遇税制の延長

閉山炭鉱地域における工業用機械等の特別償却制度など、各種石炭関係優遇税制を延長すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 岩 本 允

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣、  
農林水産大臣、通商産業大臣、運輸大臣、  
郵政大臣、労働大臣、建設大臣、自治大臣、  
北海道開発庁長官、国土庁長官

各通

## 請　願　・　陳　情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

### 請　願

文書表番号	件　　名	請　願　者	付託委員会	審査の結果
131	北海道立自然公園野幌森林公園休養園地区の整備事業の着工凍結に関する件	教育と環境を考える協議会 世話人 五十嵐 敏文	環境生活	継続審査
132	在宅酸素療法患者への電気料金の助成を求める件	「息を保障する会」 会長 立花 康人	保健福祉	同
133	2002年第6回DPI世界会議札幌大会誘致推進に関しての北海道議会決議をもって支援を求める件	2002年第6回DPI世界会議 札幌大会誘致推進会議 代表 神田 直也 外2人	同	採 択
134	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件	北海道教職員組合 中央執行委員長 楠原 長一	文　教	継続審査
135	教育予算削減をやめ、小中学校第6次・高校第5次教職員定数改善計画の次年度達成・30人学級早期実現・私学助成の充実を求める意見書採択に関する件	北海道私学助成をすすめる会 会長 松田 平太郎 外1人	同	同
136	政府管掌健康保険適用事業所の生活習慣病予防健診指定機関の拡大を求める件	小樽市錢函工業共同組合 理事長 坂口 栄之助	保健福祉	同

### 陳　情

文書表番号	件　　名	陳　情　者	付託委員会	審査の結果
38	たくさんの抵当証券被害者の早期救済措置を求める件	たくさんの抵当証券被害者原告団 団長 菅野 虎雄 外1人	環境生活	採 択

② 継続審査中のものであつて、第2回定例会において採否の決定があつたもの。

### 請　願

文書表番号	件　　名	請　願　者	付託委員会	審査の結果
107	「サッカーラリー」法案（スポーツ振興投票の実施等に関する法律案）の廃案とスポーツ予算の大幅な増額を求める意見書採択に関する件	ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会 代表 石川 一美 外4人	環境生活	議決不要
129	道立高校の授業料の値上げに反対する件	ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会 代表 石川 一美	文教	同

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○4月7日(火) 開議 午後零時31分  
散会 午後零時33分  
議会運営委員会室  
委員長 和田 敬友(自民)

- 1 元議員の逝去について
  - ・星野健三氏の逝去(札幌市北区選出、第19期～第22期、3月31日逝去)について報告。
- 2 会派異動届及び会派結成届の提出について
  - ・民主・道民連合会長から、3月31日付けをもって、小田原要四蔵議員が退会し、所属議員が33人となった旨、また、小田原議員から4月1日付けをもって会派の名称を「社会民主党議員会」、略称「社民党」として、会派結成届の提出があつた旨報告。
  - ・各派所属議員が、自民52人、民主33人、21'道民6人、公明6人、新道政6人、共産2人、改革1人、新社1人、社民1人となった旨報告。
  - ・社民党の議員控室については、4階の第3共用会議室をあてる。
  - ・会派異動に伴い、その他協議を要する事項については、改めて協議する。

○6月2日(火) 開議 午後零時42分  
散会 午後零時45分  
議会運営委員会室  
委員長 和田 敬友(自民)

- 1 元議員の逝去について
  - ・野中富雄氏の逝去(函館市選出、第18期～第20期 5月2日逝去)及び大方春一氏の逝去(上川支庁選出、第18期～第20期 5月25日逝去)について報告。
- 2 議員の辞職許可について
  - ・5月11日、中川義雄議員(自民)から議長に対し議員辞職願いの提出があり、議長は同日付けをもってこれを許可した旨報告。
  - ・各派所属議員が、自民51人、民主33人、21'道民6人、公明6人、新道政6人、共産2人、改革1人、新社1人、社民1人となった旨報告。

3 4月1日付けで社民党となつた小田原要四蔵議員の議会運営委員会出席について

- ・小田原議員から、委員外議員としては出席しないが、決定事項については遵守する旨申し出があつたことを報告。

4 議席について

- ・議員の所属会派異動に伴い配付議席表のとおり、第2回定例会招集日の本会議において議席の一部を変更する。
- ・中川議員の辞職に伴う議席については空席とする。

5 第2回定例会について

- ・招集日を6月9日とする。
- ・会期は18日間とする。
- ・総務部長から提出予定案件について説明。
- ・日程について次のとおり進める。

[第2回定例会]

6月9日	本会議
6月10日～6月14日	休会
6月15日～6月17日	本会議(一般質問)
6月18日	本会議(一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置)
6月19日～6月25日	休会
6月26日	本会議

○6月8日(月) 開議 午後零時58分

散会 午後1時3分

議会運営委員会室

委員長 和田 敬友(自民)

1 第2回定例会提出議案について

- ・総務部長から提出議案について説明があり、議案第1号ないし第5号(総合経済対策関係予算)については先議の要請。

2 議案第1号ないし第5号について

- ・急施を要するものと認め、先議する扱いとし、明日の本会議において委員会付託を省略し、議決する。
- ・質疑予定会派(3会派)について了承。
- ・質疑通告は、本日午後3時までに提出するものとする。

3 一般質問について

- ・順位は従来の例(十分比方式)による。
- ・8番目と10番目については、21'道民、公明

及び新道政が同率のため、3会派において調整し、結果を後日報告する。

- ・諸派の順位について所属議員数が同数で2会派以上の通告がある場合は、輪番制とする。
- ・通告は6月12日正午までとする。

#### 4 休会について

- ・議案調査のため、6月10日から12日まで休会し、6月15日に再開する。

#### 5 6月9日の本会議議事順序について

- ・明日の委員会において協議する。

### ○6月9日（火）開議 午前9時42分

散会 午前9時47分

議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

#### 1 特別委員の欠員補充について

- ・本日の本会議において、欠員中の地方分権・行政改革問題調査特別委員に平野明彦議員（自民）を補欠選任する。

#### 2 議案第1号ないし第5号に関する質疑について

- ・通告（3名）について報告。
- ・本日の本会議において知事の提案説明を行い、一旦休憩し、再開の後、行う。
- ・本会議再開予定時刻は午後1時とする。
- ・順位は、1番清水誠一議員（自民）、2番平出陽子議員（民主）、3番大橋晃議員（共産）とする。

#### 3 決議案の取扱いについて

- ・決議案第1号の提出があり、本日の本会議において議決する。

#### 4 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

### ○6月15日（月）開議 午後零時44分

散会 午後4時15分

議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

#### 1 一般質問について

- ・通告（20名）について報告
- ・順位の8番目は新道政、10番目は21'道民となつた旨了承。
- ・個人別順位は配付資料の通告一覧のとおり決定。
- ・本日3名、明日6名、17日6名、18日5名行

う。

#### 2 予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会について

- ・委員会構成及び正副委員長の配分は配付資料の協議事項記載のとおりとする。

- ・予算特別委員会の分科会の所管部は、配付資料の協議事項記載のとおりとする。

- ・委員名簿は6月16日正午までに提出する。

#### 3 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

（午後零時47分散会、午後4時14分再開。）

#### 4 神戸典臣議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について

- ・総務部長から、なお時間を要する旨発言。
- ・本日の本会議は、この程度にとどめ延会する。

### ○6月16日（火）開議 午前9時40分

散会 午後2時20分

議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

#### 1 昨日の神戸典臣議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について

- ・総務部長から、北海道の発展に向けた取り組み問題、新千歳空港の滑走路延長問題等について、なお時間を要する旨発言。

- ・本日の本会議は一旦開会し、議事進行の都合により休憩する。

#### 2 追加提出予定案件について

- ・総務部長より説明。
- ・6月17日の追加提出について了承。

（午前9時42分休憩、午後2時17分再開。）

#### 3 神戸議員の再質問に対する答弁準備の状況について

- ・総務部長から、答弁準備が整った旨発言。
- ・本日の本会議は神戸議員の再質問に対する知事の答弁から入る。

#### 4 一般質問について

- ・通告内容等の変更について了承。
- ・本日3名行う。

#### 5 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

### ○6月17日（水）開議 午前10時5分

散会 午前10時9分

議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

- 1 追加提出議案の事前説明について
  - ・総務部長より説明。
  - ・本日の本会議冒頭において、知事の提案説明を行う。
- 2 一般質問について
  - ・通告内容等の変更について了承。
  - ・本日 6 名行う。
- 3 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。

○ 6月18日（木） 開議 午前9時48分

散会 午後3時35分  
議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

- 1 昨日の永井利幸議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について
  - ・総務部長から、道民の森の今後の対応等について、なお時間を要する旨の発言。
  - ・本日の本会議は一旦開会し、議事進行の都合により休憩する。  
(午前9時49分休憩、午後3時34分再開。)
- 2 永井議員の再質問に対する答弁準備の状況について
  - ・総務部長から、なお時間を要する旨発言。
  - ・本日の本会議は日程を延期し延会する。

○ 6月19日（金） 開議 午前10時11分

散会 午前10時15分  
議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

- 1 6月17日の永井利幸議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について
  - ・総務部長から、なお時間を要する旨発言。
- 2 一般質問について
  - ・通告内容等の変更について了承。
  - ・6月22日まで行うこととし、審議促進の観点から、22日は午前10時から本会議を開く。
  - ・本日 5 名、6月22日 6 名行う。
  - ・その後の日程については次のように変更する。

6月19日 本会議（一般質問）

6月20～21日 休 会

6月22日 本会議（一般質問、予算・  
企業会計決算特別

委員会設置

- 6月23日～25日 休 会
- 6月26日 本会議
- 3 本日の本会議議事順序について  
・事務局長説明のとおりとする。

○ 6月22日（月） 開議 午前9時46分

散会 午前9時49分

議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

- 1 本日の本会議について
  - ・一般質問 6 名行う。
- 2 予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会について
  - ・本日一般質問終了後設置する。
  - ・各派別分科会委員数は、配付資料の協議事項記載のとおり決定した旨報告。
  - ・配付資料の名簿のとおり委員を選任する。
- 3 議案の委員会付託について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- 4 休会について
  - ・各委員会付託議案審査のため 6月23日から25日まで休会し、6月26日再開する。
- 5 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。

○ 6月26日（金） 開議 午前11時9分

散会 午前11時15分

議会運営委員会室

委員長 和田 敬友（自民）

- 1 元議員の逝去について
  - ・大久保和男氏の逝去（石狩支庁、江別市選出、第14期～第16期、第18期 6月23日逝去）について報告。
- 2 各委員会付託議案の審議状況について
  - ・予算 1 件、総務 10 件、保健福祉 3 件、建設 15 件、水産林務 3 件、以上 32 件については、すべて議了したことを報告。
- 3 閉会中継続審査を要する議案について
  - ・企業会計決算特別委員会において審査中の報告第 36 号ないし第 38 号については、継続審査とすることに決定した旨報告。
- 4 追加提出議案について
  - ・総務部長から説明。
  - ・本日の本会議において議決する。

- 5 決議案の取扱いについて  
・決議案第2号及び第3号の提出があり、本日の本会議において議決する。
- 6 意見案の取扱いについて  
・意見案第1号ないし第5号の提出があり、本日の本会議において議決する。
- 7 請願・陳情の審査について  
・環境生活委員会及び保健福祉委員会から審査結果報告のあつた請願・陳情について、本日の本会議において議決する。
- 8 閉会中継続調査の申出について  
・会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出る。
- 9 本日の本会議議事順序について  
・事務局長説明のとおりとする。
- 10 議会運営に関する確認事項について  
・理事会協議のとおり決定する。
- 11 次回定例会の招集予定日について  
・総務部長より、第3回定例会招集予定日について、9月25日を予定している旨発言があり、これを了承。
- 12 道外調査の件について  
・7月22日から7月24日までの3日間、広島県及び大阪府を調査することについて決定。

## 常任委員会

### 総務委員会

○4月7日(火) 開議 午後1時25分  
散会 午後1時29分  
第10委員会室  
委員長 野呂 善市(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長から、道税条例の改正に係る専決処分について説明。  
② 地方行財政状況等に関する道外調査の実施を決定。

○5月12日(火) 開議 午後1時35分  
散会 午後1時48分  
第10委員会室  
委員長 野呂 善市(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長から、関与団体運営指導指針について説明。  
水野重男委員(21'道民)から、質疑及び措置要求があり、後日理事会で協議することに決定。

○6月2日(火) 開議 午後1時15分  
散会 午後1時20分  
第10委員会室  
委員長 野呂 善市(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長から、地方税法の改正に伴う道税条例の改正に係る専決処分について説明。

○6月8日(月) 開議 午前10時45分  
散会 午前11時20分  
第10委員会室  
委員長 野呂 善市(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長及び総合企画部長から、平成10年第2回定例会提出予定案件について説明。  
② 監査委員事務局長から、土木現業所第3種臨時職員賃金実態調査結果の確認監査結果について説明。  
加藤和久委員(自民)から質疑及び意見。

○ 6月25日（木） 開議 午後3時22分  
散会 午後3時33分  
第10委員会室  
委員長 野呂 善市（自民）

#### 付託案件の審査

議案第7号

北海道議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例案 (原案可決)

議案第9号

附属機関の整理等に関する条例案(原案可決)

議案第10号

北海道税条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第11号

低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第12号

北海道議会議員及び北海道知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第18号

弁護士報酬の負担に関する件 (原案可決)

議案第19号・第20号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

報告第1号・第2号

専決処分報告につき承認を求める件 (承認議決)

#### 一般議事

- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

### 環境生活委員会

○ 4月7日（火） 開議 午後1時17分  
散会 午後1時37分  
第3委員会室  
委員長 長沢 徹（民主）

#### 一般議事

- ① 環境保全及び道民生活・文化事情に関する道外調査の実施を決定。
- ② 環境生活部長から、環境影響評価制度の見直しについて説明。

③ 環境生活部長から、厚幌ダム建設事業に関する環境影響評価について説明。  
④ 環境生活部長から、伝統的生活空間の再生に関するイメージ構想について説明。

○ 5月12日（火） 開議 午後1時22分

散会 午後1時27分

第3委員会室

委員長 長沢 徹（民主）

#### 一般議事

- ① 環境生活部長から、鳥獣保護法に基づくエゾシカ等の捕獲期間及び捕獲数の制限改正に係る環境庁への意見陳述について説明。

○ 6月2日（火） 開議 午後1時16分

散会 午後1時51分

第3委員会室

委員長 長沢 徹（民主）

#### 請願・陳情の審査

請願第107号

「サッカーくじ」法案（スポーツ振興投票の実施等に関する法律案）の廃案とスポーツ予算の大幅な増額を求める意見書採択に関する件 (議決不要)

#### 一般議事

- ① 泊発電所の現地調査実施概要の報告を了承。
- ② 鎌田公浩委員（自民）から質疑  
環境評価影響条例について  
(関連して小原葉子委員（民主）から質疑)
- ③ 小田原要四蔵委員（社民）から要望  
委員会質疑の在り方について

○ 6月8日（月） 開議 午前10時37分

散会 午前10時43分

第3委員会室

委員長 長沢 徹（民主）

#### 一般議事

- ① 環境生活部長から平成10年第2回定例会提出予定案件について説明。

○ 6月25日（木） 開議 午後3時21分

散会 午後3時43分

第3委員会室

委員長 長沢 徹（民主）

#### 請願・陳情の審査

## 陳情第38号

たくぎん抵当証券被害者の早期救済措置を求める件  
(採択)

### 一般議事

- ① 抵当証券に係る消費者保護に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。
- ② 環境生活部長から、北海道道民生活安定条例施行状況について説明。
- ③ 環境生活部長から、トリクロロエチレン等の地下水汚染について説明。
- ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 保健福祉委員会

○4月7日(火) 開議 午後1時8分

散会 午後1時24分  
第7委員会室  
委員長 吉田 恵悦(公明)

### 一般議事

- ① 保健福祉事情に関する道内外調査の実施を決定。
- ② 保健福祉部長から、安全で健康的な食環境づくり推進方策(案)について説明。

○5月12日(火) 開議 午後1時17分

散会 午後1時38分  
第7委員会室  
委員長 吉田 恵悦(公明)

### 一般議事

- ① 介護保険制度の安定的な運営、児童手当制度の拡充、特定疾患治療研究事業及び小児慢性特定疾患治療研究事業における公費負担制度の維持など、これら対策の充実に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 保健福祉部長から、旭川市における国民健康保険料賦課処分取消等請求事件について説明。  
水城義幸委員(自民)から質疑及び意見  
藤井猛委員(自民)から意見
- ③ 保健福祉部長から、安全で健康的な食環境づくり推進方策について説明。

○6月2日(火) 開議 午後1時16分

散会 午後1時38分

第7委員会室

委員長 吉田 恵悦(公明)

### 一般議事

- ① 保健福祉部長から、道民福祉の日の制定について説明。
- ② 水城義幸委員(自民)から質疑  
難病対策について

○6月8日(月) 開議 午前10時36分

散会 午前10時44分

第7委員会室

委員長事故のため

副委員長 釣部 眞(自民)

### 一般議事

- ① 保健福祉部長から、平成10年第2回定例会提出予定案件について説明。

○6月25日(木) 開議 午後3時22分

散会 午後3時44分

第7委員会室

委員長 吉田 恵悦(公明)

### 付託案件の審査

議案第8号

北海道介護支援専門員実務研修受講試験手数料条例案 (原案可決)

議案第13号

北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第14号

北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 請願・陳情の審査

請願第133号

2002年第6回DPI世界会議札幌退会誘致推進に関する北海道議会決議をもつて支援を求める件 (採択)

### 一般議事

- ① 保健福祉事情に関する道内外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 痴呆性老人対策の充実に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。
- ③ 保健福祉部長から、道内産イクラによる腸管出血性大腸菌O157食中毒事件について説明。

藤井猛委員(自民)から質疑

- ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 経済委員会

○4月7日（火）開議 午後1時10分  
散会 午後2時45分  
第8委員会室  
委員長 柏倉 勝雄（民主）

### 一般議事

- ① 経済部長から、北海道拓殖銀行問題に関する道の対応及び最近の雇用情勢等について説明。  
山口真人委員（自民）及び萩原信宏委員（共産）から質疑
- ② 経済事情に関する道内調査の実施を決定。
- ③ 滝口信喜委員（民主）及び萩原信宏委員（共産）から質疑  
苦東問題について

○5月12日（火）開議 午後2時  
散会 午後3時5分  
第8委員会室  
委員長 柏倉 勝雄（民主）

### 一般議事

- ① 経済部長から、総合経済対策関連予算及び北海道拓殖銀行問題に関する道の対応について説明。  
山口真人委員（自民）及び滝口信喜委員（民主）から質疑
- ② 企業局長から、苦小牧東部地区第一工業用水道事業について説明。
- ③ 萩原信宏委員（共産）から質疑及び要望
  - (1) 上川地方（旭川）の木工業界の不況対策について
  - (2) 職安へのウタリ職業相談員の配置について
  - (3) 三笠市の廃プラスチック油化工場について

○6月2日（火）開議 午後1時20分  
散会 午後2時20分  
第8委員会室  
委員長 柏倉 勝雄（民主）

### 一般議事

- ① 経済部長から、北海道拓殖銀行問題に関する

道の対応について説明。

- ② 経済部長から、北海商銀信用組合の事業譲渡について説明。
- ③ 経済事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ④ 北海道信用保証協会に関する委員会協議会の開催を決定。
- ⑤ 風早俊男委員（21'道民）から質疑及び要望  
東アジアとの経済交流について  
(関連して、石川十四夫委員（新道政）から質疑)
- ⑥ 萩原信宏委員（共産）から質疑及び要望  
静内サティ問題と商店街振興について

○6月8日（月）開議 午前10時35分  
散会 午前10時55分  
第8委員会室  
委員長 柏倉 勝雄（民主）

### 一般議事

- ① 経済部長及び企業局長から、平成10年第2回定期会提出予定案件について説明。
- ② 経済部長から、テクノポリス開発計画・集積促進計画変更承認申請について説明。
- ③ 経済部長から、平成9年度における本道の観光入込客数調査の概要について説明。
- ④ 北海道信用保証協会に関する委員会協議会における質疑事項及び質疑順序等について決定。

○6月25日（木）開議 午後3時30分  
散会 午後3時50分  
第8委員会室  
委員長 柏倉 勝雄（民主）

### 一般議事

- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ③ 萩原信宏委員（共産）から質疑  
企業立地とハイテク汚染について

## 農政委員会

○4月7日（火）開議 午後1時15分  
散会 午後3時5分  
第6委員会室

委員長 石井 孝一（自民）

### 一般議事

- ① 農政部長から、平成10年度畜産物価格について説明。  
　　土田弘委員（民主）から質疑及び要望
- ② 農政部長から、北海道花き生産振興方針について説明。
- ③ 農政部長から、北海道立農業試験場新研究基本計画について説明。
- ④ 村井宣夫委員（21'道民）から質疑及び要望
  - (1) 緊急生産調整推進対策について
  - (2) 共済制度の見直しについて
  - (3) 農地の耕作放棄について
- ⑤ 濑能晃委員（新道政）から質疑及び要望
  - (1) 道産米の販売戦略について
  - (2) と畜場について

○ 5月12日（火）開議 午後1時23分  
散会 午後1時29分  
第6委員会室  
委員長 石井 孝一（自民）

### 一般議事

- ① 平成10年産麦価等に関する要望及び中央折衝の実施を決定。
- ② 農業事情に関する道外調査の実施を決定。
- ③ 農政部長から、平成10年度農業関係国費補正予算政府案の概要について説明。

○ 6月2日（火）開議 午後1時20分  
散会 午後1時23分  
第6委員会室  
委員長 石井 孝一（自民）

### 一般議事

- ① 新たな麦政策及び政府買入価格に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農業事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。

○ 6月8日（月）開議 午前10時38分  
散会 午前11時28分  
第6委員会室  
委員長 石井 孝一（自民）

### 一般議事

- ① 農政部長から、平成10年第2回定例会提出予定案件について説明。

- ② 農政部長から、新たな麦政策大綱及び平成10年度産麦の政府買入価格について説明。  
　　村井宣夫委員（21'道民）から質疑及び要望  
　　神本三也委員（民主）から要望
- ③ 農政部長から、農作物の生育状況について説明。
- ④ 農政部長から、支庁耕地関係賃金の執行状況について説明。
- ⑤ 新しい農業基本法に関する委員会協議会の開催を決定。

○ 6月22日（月）開議 午後5時4分  
散会 午後5時38分  
第6委員会室  
委員長 石井 孝一（自民）

### 一般議事

- ① 農業企画室参事から、新しい農業基本法について説明。  
　　土田弘委員（民主）から質疑及び要望  
　　村井宣夫委員（21'道民）から質疑  
　　佐藤時雄委員（自民）から質疑  
　　岡田俊之委員（民主）から質疑及び要望  
　　神本三也委員（民主）から要望

○ 6月25日（木）開議 午後3時18分  
散会 午後3時35分  
第6委員会室  
委員長 石井 孝一（自民）

### 一般議事

- ① 新しい食料・農業・農村政策の確立に関する意見案についての中央折衝の実施を決定。
- ② 農政部長から、平成9年度農業・農村の動向等に関する年次報告について説明。
- ③ 請願について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 水産林務委員会

○ 4月7日（火）開議 午後1時15分  
散会 午後2時10分  
第5委員会室  
委員長 小池 昌（民主）

### 一般議事

- ① 水産林務部長から、根室海峡における越境操業について報告。  
伊東良孝委員（自民）から質疑
- ② 水産・林務事情に関する道内調査の実施を決定。
- ③ 大橋晃委員（共産）から質疑及び要望
  - (1) さけます増殖事業について
  - (2) オリマルジョンと環境ホルモンについて

○ 5月12日（火） 開議 午後1時40分  
 散会 午後2時40分  
 第5委員会室  
 委員長 小池 昌（民主）

#### 一般議事

- ① 国有林野事業の改革及び林業・木材産業の振興に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 北海道立トムテ文化の森の開園式に参加することを決定。
- ③ 水産林務部長から、平成10年度水産林業関係国費補正予算政府案の概要について説明。
- ④ 水産林務部長から、さけます増殖事業の体制について説明。
- ⑤ さけます増殖事業の体制に関する要望を決定。
- ⑥ さけます増殖事業の体制に関する中央折衝の実施を決定。
- ⑦ 水産林務部長から、林野火災の発生について説明。

酒井芳秀委員（自民）から質疑

- ⑧ 水産林務部長から、時のアセスメントに係る道民の森民活事業の再評価について説明。  
永井利幸委員（自民）から質疑及び要望  
大橋晃委員（共産）から質疑及び要望
- ⑨ 大橋晃委員（共産）から質疑及び要望
  - (1) シマフクロウの保護林について
  - (2) ダイオキシン含有除草剤の埋設問題について

○ 6月2日（火） 開議 午後1時20分  
 散会 午後1時25分  
 第5委員会室  
 委員長 小池 昌（民主）

#### 一般議事

- ① 水産林務事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

- ② さけます増殖事業の体制に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ③ 第49回北海道植樹祭に参加することを決定。

○ 6月8日（月） 開議 午前10時40分  
 散会 午前11時5分  
 第5委員会室  
 委員長 小池 昌（民主）

#### 一般議事

- ① 水産林務部長から、平成10年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産林務部長から、支庁林務課等における賃金執行状況調査の結果について説明。  
大橋晃委員（共産）から質疑
- ③ 大橋晃委員（共産）から質疑及び要望  
北広島市の林地開発行為について

○ 6月25日（木） 開議 午後3時15分  
 散会 午後3時30分  
 第5委員会室  
 委員長 小池 昌（民主）

#### 付託案件の審査

- 議案第21号・第22号  
工事請負契約の締結に関する件（原案可決）
- 議案第34号  
船舶建造請負契約の締結に関する件（原案可決）

#### 一般議事

- ① 北海道立トムテ文化の森開園式への参加概要の報告を了承。
- ② 第49回北海道植樹祭への参加概要の報告を了承。
- ③ 水産林務部長から、道産イクラによるO157食中毒事件について説明。
- ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

#### 建設委員会

○ 4月7日（火） 開議 午後1時17分  
 散会 午後1時59分  
 第4委員会室  
 委員長 高橋 文明（自民）

## 一般議事

- ① 建設部参事監から、北海道住宅産業振興ビジョンについて説明。
- ② 建設部長から、職員の不祥事について報告。
- ③ 荒島仁委員（公明）から質疑及び要望  
高規格幹線道路の整備促進について
- ④ 前田康吉委員（新道政）から質疑及び要望
  - (1) 国の補正予算に対応する姿勢について
  - (2) 第3次北海道長期総合計画における建設部の役割について
  - (3) 住宅産業の育成について

○ 5月12日（火） 開議 午後1時37分

散会 午後1時50分

第4委員会室

委員長 高橋 文明（自民）

## 一般議事

- ① 建設事情に関する道外調査の実施を決定。
- ② 建設部長から、平成10年度北海道開発予算補正の概要について説明。
- ③ 佐藤寿雄委員（自民）から質疑  
網走土現の不祥事再発防止について

○ 6月2日（火） 開議 午後1時24分

散会 午後2時1分

第4委員会室

委員長 高橋 文明（自民）

## 一般議事

- ① 建設事情に関する道外調査実施報告を了承。
- ② 建設部長から、指名選考委員会の運営に関する調査結果及び入札手続き等に係る改善策について説明。

佐藤寿雄委員（自民）から質疑及び要望

星野高志委員（民主）から質疑、意見及び要望

○ 6月8日（月） 開議 午前11時7分

散会 午前11時26分

第4委員会室

委員長 高橋 文明（自民）

## 一般議事

- ① 建設部長から、平成10年度第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 建設部長から、平成4・5年度賃金執行に係る確認監査結果について説明。

○ 6月25日（木） 開議 午後3時14分

散会 午後3時29分

第4委員会室

委員長 高橋 文明（自民）

## 付託案件の審査

議案第15号

空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第16号

北海道道の路線の認定に関する件 (原案可決)

議案第17号

特定多目的ダム法に基づく滝里ダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件 (原案可決)

議案第23号ないし第26号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第27号ないし第33号

工事委託契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第35号

財産の取得に関する件 (原案可決)

## 一般議事

① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。

② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 文教委員会

○ 4月7日（火） 開議 午後1時42分

散会 午後2時14分

第9委員会室

委員長 山口 幸太郎（自民）

## 一般議事

① 文教事情に関する札幌市内調査の実施を決定。

② 教育長及び生涯学習部長から、公立高等学校入学選抜の改善について説明。

③ 教育長から、第3次北海道教育長期総合計画について説明。

④ 企画総務部長から、教育庁職員適正化計画について説明。

⑤ 企画総務部長から、教職員の懲戒処分取消しによる給与（差額）支給などに伴う専決処分について説明。

- ⑥ 加藤礼一委員（自民）から質疑及び要望  
中学校における学校事故で訴訟が提起された  
ことについて  
(関連して、喜多龍一委員（自民）から質疑  
及び要望)

○ 5月12日（火） 開議 午前10時45分  
散会 午前11時32分  
第9委員会室  
委員長 山口 幸太郎（自民）

#### 請願・陳情の審査

請願第129号

道立高校の授業料の値上げに反対する件  
(議決不要)

#### 一般議事

- ① 文教事情に関する道内・道外調査の実施を決定。  
② 学事課参事から、高等教育機関の基本的方向について説明。  
③ 教育長及び企画総務部長から、北海道教育委員会職員倫理綱領について説明。  
原田裕委員（自民）から質疑、意見及び要望  
④ 教育長から、北海道教育のめざす姿について説明。  
⑤ 生涯学習部長から、北海道学校教育目標について説明。  
⑥ 原田裕委員（自民）から質疑、意見及び要望  
釧路湖陵高等学校職員の収賄事件について

○ 6月2日（火） 開議 午後1時20分  
散会 午後1時47分  
第9委員会室  
委員長 山口 幸太郎（自民）

#### 一般議事

- ① 企画総務部長から、不祥事の再発防止のための改善プログラム等の進捗状況について報告。  
喜多龍一委員（自民）から意見  
② 札幌市内の文教事情調査の実施報告を了承。  
③ 佐藤英道委員（公明）から質疑  
中高一貫教育について

○ 6月8日（月） 開議 午前10時37分  
散会 午前11時5分  
第9委員会室  
委員長 山口 幸太郎（自民）

#### 一般議事

- ① 教育長から、平成10年度第2回定例会提出予定案件について説明。  
② 生涯学習部長から、道立高等学校における斡旋物品等の発注状況調査について説明。  
原田裕委員（自民）から意見及び要望  
③ 桜井外治委員（自民）から意見及び要望  
平成10年度第2回定例会提出予定案件の審議のあり方について

○ 6月25日（木） 開議 午後3時25分  
散会 午後3時28分  
第9委員会室  
委員長 山口 幸太郎（自民）

#### 一般議事

- ① 義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見案の発議を決定。  
② 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。  
③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 特別委員会

### 総合開発調査特別委員会

○ 4月8日（水） 開議 午前10時58分  
散会 午前11時41分

第1委員会室

委員長 佐藤 時雄（自民）

- ① 地域開発事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 地域開発事情に関する道内調査の実施を決定。
- ③ 総合企画部長から、新しい全国総合開発計画について説明。
- ④ 総合企画部長から、日本海地域振興方策について説明。
- ⑤ 久田恭弘委員（自民）から質疑及び要望  
国の景気対策、総合対策に関連する地元負担の軽減について
- ⑥ 大橋晃委員（共産）から質疑及び要望  
新しい全国総合計画と苫小牧東部開発について

○ 5月13日（水） 開議 午前10時31分  
散会 午後10時42分

第1委員会室

委員長 佐藤 時雄（自民）

- ① 総合企画部長から、第6期北海道総合開発計画について説明。
- ② 総合企画部長から、総合経済対策について説明。

○ 6月3日（水） 開議 午前11時37分  
散会 午後零時24分

第1委員会室

委員長 佐藤 時雄（自民）

- ① 地域開発事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ② 総合企画部長から、北海道新幹線新函館駅駅部調査について説明。
- ③ 大橋晃委員（共産）から質疑
  - (1) アルファコーポレーションの倒産と自治体財政への影響について
  - (2) 苫東計画について

### 産炭地域振興対策特別委員会

○ 4月8日（水） 開議 午前10時35分  
散会 午前10時38分

第10委員会室

委員長 石川 十四夫（新道政）

- ① 太平洋炭鉱維持存続に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施概要の報告を了承。

○ 5月13日（水） 開議 午前10時35分  
散会 午前10時43分

第10委員会室

委員長 石川 十四夫（新道政）

- ① 産炭地域事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 北海道石炭対策連絡会議による太平洋炭鉱・池島炭鉱長期存続特別中央大会の参加及び中央折衝の実施を決定。
- ③ 産炭地域六団体連絡協議会による臨時代表者大会の参加及び中央折衝の実施を決定。

○ 6月8日（月） 開議 午後1時35分  
散会 午後1時44分

第10委員会室

委員長 石川 十四夫（新道政）

- ① 北海道石炭対策連絡会議による太平洋炭鉱・池島炭鉱長期存続特別中央大会参加及び中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 産炭地域六団体連絡協議会による臨時代表者大会参加及び中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ③ 経済部長から、石炭鉱業審議会政策、経営、需給・価格及び技術合同部会企画小委員会報告書の概要と平和10年度国内炭生産数量及び基準炭価について説明。

○ 6月25日（木） 開議 午後4時8分  
散会 午後4時13分

第10委員会室

委員長 石川 十四夫（新道政）

- ① 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。
- ② 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実

施を決定。

- ③ 産炭地域六団体連絡協議会による代表者大会参加及び中央折衝の実施を決定。

## 北方領土対策特別委員会

○ 4月8日（水） 開議 午前10時21分

散会 午前10時46分

第3委員会室

委員長 高橋 定敏（自民）

- ① 領対本部長から、平成10年度北方領土復帰対策事業推進方策について説明。

若狭靖委員（自民）から質疑及び要望

（関連して、舟山広治委員（民主）から意見）

- ② 漁業管理課参事から根室海峡における越境操業について報告。

喜多龍一委員（自民）から意見

○ 5月13日（水） 開議 午前10時14分

散会 午前10時23分

第3委員会室

委員長 高橋 定敏（自民）

- ① 領対本部長から、北方四島交流事業の実施について説明。

- ② 北方四島訪問団の団員推薦を決定。

- ③ 領対本部長から、平成10年度北方四島墓地現地調査について説明。

舟山広治委員（民主）から意見

○ 6月3日（水） 開議 午前10時31分

散会 午前10時56分

第3委員会室

委員長事故のため

副委員長 小原 葉子（民主）

- ① 北方四島訪問の実施概要の報告を了承。

- ② 領対本部長から、北方四島交流事業の実施について説明。

- ③ 北方領土返還促進に関する中央折衝及び国会請願の実施を決定。

- ④ 領対本部長から、第4期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画について説明。

- ⑤ 若狭靖委員（自民）から質疑及び要望

(1) 千島歯舞諸島居住者連盟の決議について

(2) 色丹島への専門家派遣について

○ 6月8日（月） 開議 午後1時28分

散会 午後1時31分

第3委員会室

委員長 高橋 定敏（自民）

- ① 北方領土返還促進に関する中央要請及び国会請願実施報告を了承。

- ② 領対本部長から、平成10年第2回定例会提出予定案件について説明。

○ 6月16日（火） 開議 午後4時39分

散会 午後4時44分

第3委員会室

委員長 高橋 定敏（自民）

- ① 領対本部長から、第4期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画について説明。

## エネルギー問題調査特別委員会

○ 4月8日（水） 開議 午前11時28分

散会 午後零時31分

第10委員会室

委員長 嶋山 博（自民）

- ① 経済部長から、北海道電力株式会社知内発電所2号機におけるオリマルジョンの輸送再開について説明。

- ② 経済部長から、貯蔵工学センターに関する国の見解について報告。

吉野之雄委員（民主）から質疑

星野高志委員（民主）から質疑

小田原要四藏委員（社民）から質疑

○ 6月3日（水） 開議 午前10時52分

散会 午前11時26分

第10委員会室

委員長 嶋山 博（自民）

- ① 経済部長から、北海道電力株式会社泊発電所1号機の定期検査結果について説明。

- ② 経済部長から、幌延問題を巡る動向について説明。

- ③ 小田原要四藏委員（社民）から質疑及び要望  
原子力長期計画について

## 交通安全対策特別委員会

○ 4月8日（水） 開議 午前10時24分

散会 午前10時56分

第2委員会室

委員長 森 敏捷（民主）

① 警察本部交通部長から、速度上昇期における死亡事故抑止対策について説明。

② 吉田栄委員（民主）から質疑

- (1) 平成9年の交通事故発生状況及び事故ゼロの日について
- (2) 全道一斉交通安全運動の実施について
- (3) 交通安全年間キャンペーンの実態について
- (4) 無事故の日と母の会について
- (5) 無事故の日の全道展開に対する見解について

（関連して輪島幸雄委員（民主）から意見及び要望）

○ 5月13日（水） 開議 午前11時10分

散会 午前11時22分

第2委員会室

委員長 森 敏捷（民主）

① 環境生活部長から、シートベルト着用推進キャンペーンの実施について説明。

② 警察本部交通部長から、春の全国交通安全運動期間中における事故概況について説明。

輪島幸雄委員（民主）から要望。

③ 警察本部交通部長から、平成9年度冬季スリップ事故の発生状況について説明。

○ 6月3日（水） 開議 午前10時28分

散会 午前10時59分

第2委員会室

委員長 森 敏捷（民主）

① 警察本部交通部長から、運転免許に関する講習の改正概要について説明。

② 林大記委員（民主）から質疑  
飲酒運転の取り締まり状況について

③ 佐藤英道委員（公明）から質疑

- (1) 交通事故防止対策について
- (2) 海外旅行に係る運転免許について

○ 6月8日（月） 開議 午後1時26分

散会 午後1時34分

第2委員会室

委員長 森 敏捷（民主）

① 警察本部交通部長から、平成10年第2回定例会提出予定案件について説明。

## 地方分権・行政改革問題調査特別委員会

○ 4月8日（水） 開議 午前10時34分

散会 午前10時39分

第1委員会室

委員長 井野 厚（民主）

① 地方分権に関する委員会協議会実施結果を報告。

○ 5月13日（水） 開議 午前11時5分

散会 午後零時8分

第1委員会室

委員長 井野 厚（民主）

① 岡田俊之委員（民主）から質疑

地方分権の推進について

② 前田康吉委員（新道政）から質疑及び要望

- (1) 外部監査制度の導入について

- (2) 総合経済対策について

- (3) 市町村合併と地方分権について

③ 萩原信宏委員（共産）から質疑及び要望  
道政改革の実施方針と土現汚職について

○ 6月3日（水） 開議 午前10時27分

散会 午前11時21分

第1委員会室

委員長 井野 厚（民主）

① 総合企画部政策室長から、地方分権推進計画について説明。

本間勲委員（自民）から質疑、意見及び要望

○ 6月25日（木） 開議 午後3時59分

散会 午後4時5分

第1委員会室

委員長 井野 厚（民主）

① 補充選任委員の議席を決定。

## 予算特別委員会

○ 6月22日（月） 開議 午後4時20分  
散会 午後4時28分  
第1委員会室  
委員長 伊藤 政信（民主）

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に伊藤政信委員（民主）、副委員長に川村正委員（自民）を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、環境生活部、保健福祉部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は総合企画部、経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員については、配付の委員名簿のとおり選出。

### ○第1分科会委員（15人）

荒島 仁（公明） 加藤 礼一（自民）  
原田 裕（自民） 星野 高志（民主）  
高橋由紀雄（民主） 上田 茂（新道政）  
板谷 實（21道民） 清水 誠一（自民）  
釣部 純（自民） 高橋 文明（自民）  
永井 利幸（自民） 小野寺 勇（自民）  
井野 厚（民主） 輪島 幸雄（民主）  
吉田 政一（自民）

### ○第2分科会委員（15人）

蝦名 清悦（民主） 喜多 龍一（自民）  
本間 純（自民） 村井 宣夫（21道民）  
山田驥太郎（新道政） 西田 昭紘（民主）  
川村 正（自民） 山崎 正隆（自民）  
野呂 善市（自民） 青田 恵悦（公明）  
吉田 栄（民主） 土田 弘（民主）  
大橋 晃（共産） 畠山 博（自民）  
久田 恭弘（自民）

- ④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことにして決定。

- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答形式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議の一般質問に準ずることに決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり正副委員長及び各分科会の正副委員長をもつて構成する理事会を設置し、その協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派及び諸派についても出席願うことを決定。
- ⑨ 委員外議員の発言の取扱いについて、議員から発言の申し出があった場合、その都度、委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は、委員の質疑終了後に発言することを決定。

## 第1分科会

○ 6月22日（月） 開議 午後4時30分  
散会 午後4時37分  
第1委員会室  
第1分科委員長

星野 高志（民主）

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に星野高志委員（民主）、分科副委員長に加藤礼一委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法、理事会の設置、分科委員の異動、分科委員外委員及び委員外議員発言の取扱い、議席について決定。
- ③ 理事に原田裕委員（自民）、高橋由紀雄委員（民主）、板谷實委員（21道民）、荒島仁委員（公明）、上田茂委員（新道政）を選出。

○ 6月23日（火） 開議 午前10時59分  
閉会 午後零時49分  
第1委員会室  
第1分科委員長

星野 高志（民主）

- ① 保健福祉部所管に対する質疑に入り、  
鎌田 公浩委員（自民）から、  
食品衛生について  
・富山県及び東京都等における食中毒事件の概要及び道の対応

- ・当該施設におけるイクラの製造及び出荷状況
  - ・O157に係る検査状況
  - ・イクラ以外の製品の取扱状況
  - ・食品衛生法等に基づく許可及び指導状況
  - ・使用水の使用実態
  - ・当該施設の自主的な衛生管理及び保健所の衛生管理指導などの食品衛生監視状況
  - ・道が実施しているO157対策の具体的な内容
  - ・食品別の衛生管理等のマニュアル作成についての考え方
  - ・今後のO157食中毒にかかる汚染原因究明に対する取組方策
  - ・今回発生した食中毒の認識及び今後の食中毒防止対策の徹底に対する取組方策
- 等について

**清水 誠一委員（自民）から、**

#### 1 障害児施設について

- ・小児総合保健センター及び肢体不自由児総合療育センターの整備に係る今後の取組方策及び整備計画策定のスケジュール
- ・肢体不自由児総合療育センターの分院の整備についての認識
- ・地域の中で障害児が医療を受けられるための方策
- ・地域療育センターを六カ所から十六カ所に増設する具体的な見通しと機能強化に対する考え方

#### 2 地域保健医療計画について

- ・北海道保健福祉医療計画における病床数改正のポイント
  - ・医師会等地域からの意見聴取の有無
  - ・医療審議会及び各地域の医師会からの意見の具体的な内容
  - ・新しい保健福祉医療計画スタート後の病床返上の理由及び病床返上に至った経過と認識
  - ・十勝圏での医療生協による病院の開設計画の内容
  - ・本道の医療生協が設置している病院の状況と設立趣旨の内容
  - ・北海道型の病床数の算定及び地域の意見を聞くなどして必要病床数を決定することに対する見解
- 等について

**森 成之委員（公明）から、**

#### 1 医療系廃棄物について

- ・廃棄物処理法や医療法での位置付け及び部長の認識
- ・廃棄物適正処理に係る指導内容
- ・医療機関に対する道の指導体制
- ・道内における医療系廃棄物排出施設数及び排出量が多いと思われる病院への監視回数
- ・感染性廃棄物処理に係る病院監視の内容
- ・医療監視結果で感染性廃棄物の処理が不適切な病院数と具体的な内容
- ・医療監視の結果を踏まえて医療廃棄物の適正処理に向けた今後の対応についての部長の見解

#### 2 O157について

- ・地場製品にあるイクラが原因の食中毒事件の早期解明と再発防止に対する考え方及び道産水産加工品の安全性確保のPR実施に対する所見

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、地域医療課長及び食品衛生課長から答弁があつて、保健福祉部所管に対する質疑を終結。

## 第2分科会

○6月22日（月） 開議 午後4時30分  
散会 午後4時37分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
本間 熱（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に本間熱委員（自民）、分科副委員長に蝦名清悦委員（民主）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法、理事会の設置、分科委員の異動、分科委員外委員及び委員外議員発言の取扱い、議席について決定。
- ③ 理事に喜多龍一委員（自民）、西田昭絵委員（民主）、村井宣夫委員（21道民）、吉田恵悦委員（公明）、山田鱗太郎委員（新道政）を選出。

○6月23日（火） 開議 午前11時39分  
散会 午後5時15分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
本間 熱（自民）

- ① 総合企画部所管に対する質疑に入り、原田 裕委員（自民）から、

## 産業クラスターについて

- ・道としての全体的な方向づけに対する考え方及び役割に対する認識
- ・産学官の今後の連携強化に対する考え方
- ・道内各地における取組状況及び取組に対する道の支援体制の状況
- ・コーディネート機能の現状と認識及び機能強化に対する具体的な取組状況
- ・民間企業と道立試験研究機関との共同研究の実施状況及び成果の内容
- ・道立試験研究機関から民間企業への技術指導の実績
- ・共同研究事業への今後の取組方策
- ・試験研究機関の整備充実等試験研究費の今後の対処方策
- ・研究職員の海外研修の機会を拡充することに対する見解
- ・試験研究機関のコーディネート機能を充実させることに対する見解

大橋 晃委員（共産）から、

### 1 新ガイドラインについて

- ・周辺有事の際、政府が自治体首長に協力要請する場合の解釈についての受けとめ方
- ・地方公共団体の意向の尊重を無視されたことに対する見解
- ・自治体に対する協力要請が義務であることに対して自治体関係者が強い懸念をしていることについての所見
- ・市町村長の意向に対する道の受けとめ方及び議会の同意の必要性
- ・自治体の意向を無視して法案を提出し、実施することは断固反対するということへの見解

### 2 沖縄海兵隊の矢臼別での実弾射撃訓練について

- ・矢臼別へ集中していることへの見解
- ・矢臼別での固定化に対する見解
- ・夜間訓練実施の有無
- ・駐留軍及び自衛隊施設対策委員会へ諮詢しなかつたことに対する所見
- ・騒音の調査内容と結果及び住宅防音対策の考え方
- ・札幌防衛施設局の酪農被害実態調査が9月の訓練時を含まないことへの見解及び9月にも調査を要請することへの見解

等について質疑、意見及び要望があり、総合企画部長、政策

室長及び科学技術振興課参事から答弁があつて、総合企画部及び選挙管理委員会所管に対する質疑を終結。

### ② 建設部所管に対する質疑に入り、

清水 誠一委員（自民）から、

#### 下水道事業について

- ・過疎下水道代行制度の要件に対する解釈及びこれまでの適用件数の実状
- ・道が直営で設置した件数及び日本下水道事業団に委託した件数とその内容及び理由
- ・事業団における事業実施の内容及び事業団に全て委託する理由
- ・道自ら発注することについての見解
- ・事業団の発注を本州や道内の大手が受注している理由
- ・地元業者への受注機会の確保にかかる事業団への対応状況
- ・格付け等級の取扱い及び発注標準の緩和を申し入れることに対する見解
- ・事業団との契約締結予定の時期
- ・事業種別に区分して発注することについて事業団に申し入れることに対する見解
- ・道内業者育成に対する見解

等について

萩原 信宏委員（共産）から、

#### 釧路市ジャスコ問題について

- ・改正都市計画法のゾーン規制での大型店進出規制の可否に対する見解
- ・建築基準法の但し書き適用に対する見解
- ・釧路市昭和地区における区画整理構想の認識
- ・昭和第一地区区画整理の進捗状況及び商業施設の立地計画と進捗状況
- ・郊外大型店が中心市街地の空洞化を招いていることに対する認識
- ・釧路市における今後の大型店進出に対する見解
- ・区画整理による超大型店進出に対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、参事監、住宅都市局長、建築指導課長、都市環境課長、公園下水道課長及び都市計画課長から答弁があつて、建設部及び収用委員会所管に対する質疑を終結。

### ③ 農政部所管に対する質疑に入り、

喜多 龍一委員（自民）から、

#### 乳牛・肉牛のヨーネ病対策について

- ・本道及び全国での発生状況
- ・全国的な検査の取組状況

- ・関係機関に対する道の対応
  - ・検査の具体的方法
  - ・検査環境に対する対処方策
  - ・新しい検査方法の確立についての所見
  - ・疑似患畜などへの対応策
  - ・生乳の出荷禁止に伴う助成措置の新設に対する見解
  - ・道の実施要領の解釈
  - ・助成対策に対する見解
  - ・指定助成事業における助成対象と今後の国検討方向
  - ・道の助成措置についての所見
  - ・消毒などに対する補助条件の内容
  - ・衛生管理に係る指導普及の取組状況
  - ・今後の取組に対する見解
- 等について

**萩原 信宏委員（共産）から、**

- 1 麦などの価格対策等について
  - ・ホクシン小麦の需要拡大に対する見解
  - ・地域に適合した品種改良等に対する見解
- 2 ヌレ子対策について
  - ・ヌレ子価格の動向
  - ・本年度の乳価算定の価格見積り
  - ・価格下落に伴う道単独の補てん策に対する見解
  - ・乳用牛と和牛との交配状況及び交雑種の生産に対する道の対処方針

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部次長、農業改良課長、酪農畜産課長及び酪農畜産課参事から答弁があつて、農政部所管に対する質疑を終結。

○ 6月24日（水） 開議 午前10時29分  
 閉会 午後5時19分  
 第2委員会室  
 第2分科委員長  
 本間 獨（自民）

① 水産林務部所管に対する質疑に入り、

**鎌田 公浩委員（自民）から、**  
 食品衛生について

- ・道内におけるイクラ生産業者数、昨年のイクラの生産量及び現在の在庫量
- ・一般的な製造工程の内容及び問題となつた別海の加工場の製造工程の現状
- ・道内外への仕向割合
- ・今回の事件後の道産イクラの流通・消費にお

ける変化の状況

- ・道産イクラのイメージダウンに対する受けとめ方
- ・これまでの道の対応状況
- ・消費者等への安全性の周知方法
- ・消費者に対する安全性のPRの具体的対応の考え方
- ・今後の加工業界に対する指導内容
- ・道内産水産加工品等の安全性の確立に向けた将来的な対処方針

等について、質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産局長及び水産経営課長から答弁があつて、水産林務部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

② 経済部所管に対する質疑に入り、

**原田 裕委員（自民）から、**

産学官融合センターについて

- ・設置主体及び目的
- ・産業クラスターの形成における位置付け
- ・センターの機能と施設及び予定事業の内容
- ・起業家を育てる機能が欠如していることに対する見解
- ・現在の進捗状況と問題点及び課題
- ・国の許可条件により本来の目的・機能が発揮できなくなる場合の支援の再検討についての見解
- ・北大先端科学技術協同センターとの関係、道立工業試験場との関連性、工業技術プロモーションセンターの内容及び産学官融合センターとの関係
- ・北大構内に設置する理由
- ・北大構内に設置することにより機能が発揮できなくなるという危惧に対する見解
- ・国の所有地にセンターを建設することにより受ける制約の具体的な内容及びその根拠
- ・制約が産学官融合センターの目的や機能に与える影響
- ・アクションプランで想定している機能との整合性に対する見解
- ・将来的に拡大していく必要のある施設を制約のある国有地の中で広がりを持たせていくことについての見解
- ・資金の負担割合及び道の負担割合に対する見解
- ・経済界がセンター整備に対し道費に3分の2

を依存することに対する所見

- ・センター運営に関して支援を行わないことに対する所見

等について

久田 恭弘委員（自民）から、

1 エネルギー問題について

- ・水力発電に係る本道の包蔵水力と未開発地点の現状
- ・水力発電を行うために必要な落差及び発電可能出力と北海道電力における代表例
- ・新長期計画における水力発電指標の内容と目標達成の見込み
- ・環境負荷の少ない水力発電の開発の進め方
- ・原子力発電所の定期検査に要する期間
- ・泊3号機の増設に対する対応
- ・今後のエネルギー対策に対する見解
- ・原子力発電に対する見解

2 中心市街地活性化対策について

- ・中心市街地活性化法の概要
- ・道内市町村における基本計画の策定状況及びタウン・マネジメント機関の活動の取組状況
- ・中心市街地・商店街活性化推進事業の進捗状況
- ・道としての推進体制に対する見解
- ・自治体の役割についての認識
- ・今後の商店街振興対策の進め方
- ・道のまちづくり構想支援制度に対する市町村の要望及び採択の状況と決定時期

等について

大橋 晃委員（共産）から、

苦東開発について

- ・開発庁長官の先送り表明に対する受止め方
- ・4者間協議の状況と遅延の理由及び道の協議へのかかわり方
- ・協議の経過について情報公開することに対する見解
- ・苦東問題を選挙の争点にしないことに対する所見
- ・産廃処理施設構想に対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、産業振興課長、資源エネルギー課長及び地域産業課長から答弁があつて、経済部及び地方労働委員会所管に対する質疑は終結。

③ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

永井 利幸委員（自民）から、

スポーツの振興について

- ・第3次教育長期総合計画における生涯スポーツの充実に対する具体的な取組の視点
- ・道民スポーツ大会の現状及び課題に対する認識
- ・道民スポーツ大会のあり方の見直しに対する見解及び見直しの方向を明らかにする時期についての見解
- ・全道大会開催の経緯と内容
- ・道民スポーツ大会30回記念の年である今年の全道大会実施の有無
- ・全道大会の実施について考え方を明確に示さない理由と大会実施の必要性に対する見解

等について

大橋 晃委員（共産）から、

1 養護学校の寄宿舎の体制問題について

- ・高等部の併置に伴う校舎の増改築計画の取組状況
- ・併設に当たっての対応状況
- ・小中生の寮に高校生を受け入れたことで生じる問題の現状とその対応
- ・一部の女子舎に男子を入れている実態及び改善の必要性
- ・高等部と小中部の生徒が同室であることに対する見解
- ・不眠や情緒不安定の子どものための予備室の必要性
- ・二人部屋を基本とする計画的整備に対する見解
- ・改善のための年次計画の必要性
- ・寮母及び舎監の配置状況
- ・「期限付き寮母」の実態

- ・高等部併置による寮母の増員の状況
- ・職員の全国水準並みへの増員に対する見解
- ・学校週5日制の導入に伴う寮母等の増員状況
- ・2002年の完全週5日制に向けた増員計画作成についての見解
- ・精神薄弱養護学校への看護婦配置についての見解

- ・養護教諭の複数配置の拡大についての見解
- ・寄宿舎の施設面及び人的な面での検討についての決意

2 不適応者の教室について

- ・適応指導教室の重要性についての認識及び道内70カ所程度への拡大についての見解及び支

## 援強化についての所見

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、企画総務部長、生涯学習部長、教職員課長、スポーツ保健体育課長及び小中・特殊教育課参事から答弁があつて、教育委員会所管に対する質疑を終結。

○ 6月25日（木） 開議 午後2時52分

閉会 午後3時1分

第1委員会室

委員長 伊藤 政信（民主）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 議案第6号について、原案のとおり可決することを決定。
- ③ 本間勲委員（自民）から、別紙の付帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮つて動議成立。本動議を諮つて異議なく可決することを決定。
- ④ 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑤ 委員長から、付託案件の審査終了に当たり、あいさつがあつて閉会。

# 資料

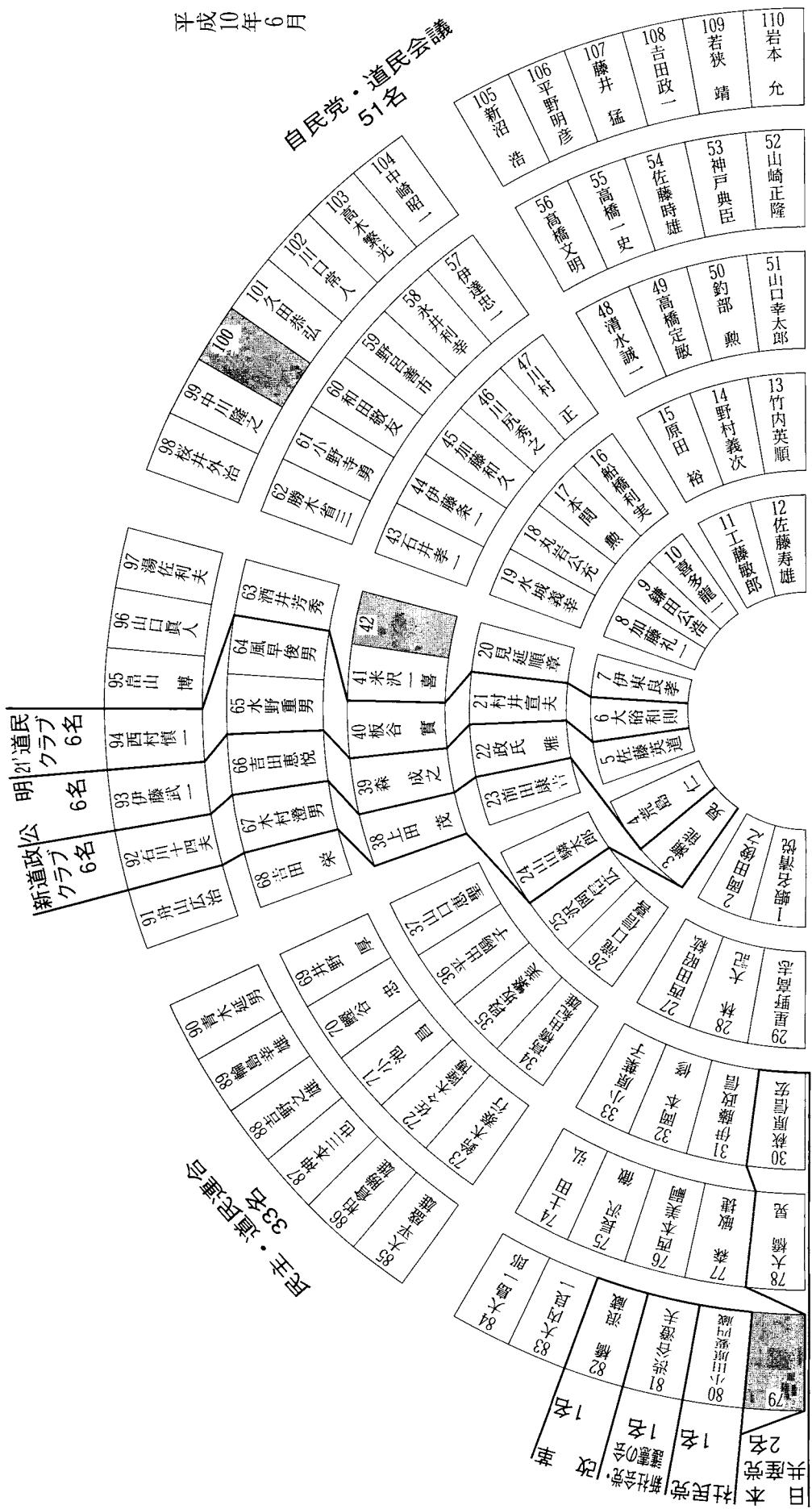
## 第2回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道税条例の一部を改正する条例	6. 26	3. 31	北海道条例第29号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	5. 29	北海道条例第30号
北海道議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例	同	7. 1	北海道条例第31号
北海道介護支援専門員実務研修受講試験手数料条例	同	同	北海道条例第32号
附属機関の整理等に関する条例	同	同	北海道条例第33号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第34号
低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第35号
北海道議会議員及び北海道知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第36号
北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第37号
北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第38号

北海道議會議席表

平成10年6月

自民党・道民会議  
51名



事務局職員

議長 事務局長

事務局職員

説明員

説明員

説明員

副  
知  
事

速記席

各種委員会

説明員

説明員

説明員

説明員

## 4月のメモ

- 1日 ○**ビックバン本番** 外貨取引を抜本的に自由化する改正外為法、日銀の独立性を高める改正日銀法、5000万円超の株式売買委託手数料の自由化など、日本版ビックバン（金融制度改革）がスタートした。
- 3日 ○**政府が苫東見直し案** 政府は、行き詰まっている苫小牧東部開発計画の見直し案をまとめた。分譲面積の縮小、開発推進母体の苫東開発公社への税や金利の減免、国や道などの公共用地取得が柱。金融機関や地元の同意が得られるかが焦点となる。
- 5日 ○**明石海峡大橋が開通** 神戸市と淡路島を結ぶ世界最長のつり橋、明石海峡大橋が開通、阪神地域と四国が直結した。ケーブルを支える主塔間の距離は1991㍍でハンバー橋を抜いて世界一。建設費は橋本体だけで約5000億円。
- 9日 ○**4兆円の特別減税** 橋本首相は、98年分の所得税・住民税減税を2兆円上積みし、99年も2兆円特別減税を継続する新たな減税方針を表明。財政構造改革法を今国会で改正したいと述べ、財政再建路線から景気対策優先に政策転換した。これを受け、10日、政府、与党の財政構造改革会議が開かれた。
- 16日 ○**山一破たん社内調査公表** 山一証券は、簿外債務の処理など経営破たんに至る過程を検証した社内調査報告書を発表。大蔵省の元証券局長から損失を「飛ばし」で処理するよう示唆されたいきさつや、大蔵省が「内閣の判断」として自主廃業を迫った内幕などが生々しく記述されている。
- 17日 ○**「時のアセスメント」で最初の結論** 長期間停滞している事業や政策を見直す道の「時のアセスメント」で、堀達也知事は記者会見し、「道民の森」民活事業（カムイジャンボリー計画、石狩管内当別町）を中止、苫小牧東部第1工業用水道事業（苫東工水）を当面凍結すると発表した。「道民の森」民活事業についての代替案も示した。「時のアセス」の対象9事業のうち、一定の結論が出たのは初めて。
- 21日 ○**国保料不明示の旭川市条例に違憲判決** 旭川市の杉尾正明さんが国保料の賦課取り消しを求めていた行政訴訟で、旭川地裁は国保料は地方税と同一視され、料率を定めない同市条例は租税法律主義を定めた憲法84条などに違反するなどと判断、同市に賦課取り消しを命ずる原告全面勝訴の判決を言い渡した。同市は控訴の方針。
- 22日 ○**道が一時借入金調達で競争入札導入** 一般会計の一時的な資金不足を埋める一時借入金の調達で、道は初めて競争入札を試験的に実施。1000億円分を北洋銀行など六行が落札し、平均金利は0.833%。約7400万円の金利負担軽減が実現した。都道府県での実施は全国でも初めてという。
- 24日 ○**財革法改正案を決定** 財政構造改革会議は①赤字国債縮減を停止できる弾力措置の導入②財政健全化目標年次の2年先延ばし③1999年度の社会保障費で歳出上限枠（キャップ）を外すなどを内容とする財政構造改革法の改正案を正式決定した。
- 過去最大の景気対策** 政府は公共投資や減税を中心に事業費総額16兆円を上回る過去最大の総合経済対策を決めた。財政措置を伴う「真水」は、総額約12兆円。北海道不況対策は約4800億円が盛り込まれた。
- 30日 ○**新幹線でボルト抜かれる** 岐阜県関ヶ原町の東海道新幹線下り線で、レールを押さえるボルト25本が抜かれているのが見つかり、岐阜県警は悪質な列車妨害事件として新幹線妨害特例法違反などの容疑で捜査を始めた。

## 5月のメモ

- 3日 ○豊かさ指標、北海道は11位 経済企画庁が発表した1998年版「新国民生活指標」(豊かさ指標)で、都道府県別でみた豊かさの総合順位は福井が5年連続トップ、北海道は総合で前年と同じ11位。子育て環境を示す「育てる」が4年連続1位だった。
- 4日 ○インドネシアで暴動 ガソリン代、交通運賃の大幅値上げに反発し、北スマトラ州メダンでデモ行進していた1000人を超す市民が暴徒化、商店などを襲った。暴動は州内各地に波及。治安部隊が出動し「6人死亡、100人以上が負傷」の報道も流れた。
- 6日 ○札幌ドームの実施計画を発表 札幌市が同市豊平区羊ヶ丘に建設する全天候型多目的施設「札幌ドーム」(仮称)は、6月3日に着工し、2001年5月31日に完成。敷地面積は31㌶で、総事業費は422億円を予定している。
- 8日 ○動燃が幌延、札幌事務所閉鎖へ 動力炉・核燃料開発事業団は、高レベル放射性廃棄物貯蔵・研究施設(貯蔵工学センター)計画推進のため置いていた留萌管内幌延町の幌延連絡所と、札幌連絡事務所を今月末に閉鎖する方針を固めた。
- 11日 ○インドが地下核実験 パジパイ首相が、西部ラジャスタン州ポカラーン砂漠の核実験場で3種類の地下核実験を実施した、と発表。インドの核実験は1974年以来24年ぶり。13日にも同実験場で地下核実験を行い、一連の実験の終了を宣言。日米が制裁発動を決定するなど、国際的非難が相次いでいる。
- 12日 ○サッカーくじ法が成立 参院で修正可決されたスポーツ振興投票実施(サッカーくじ)法が、衆院本会議で可決、成立した。2000年春にもくじが売り出される。
- 18日 ○道管理空港の使用料引き下げ方針 堀達也知事は道内15空港のうち、道管理の女満別、中標津、紋別の使用料を国管理の空港に先行し、今秋から引き下げる方針を表明。市管理の旭川、帯広両空港についても両市と調整する考えを示した。
- 27日 ○アルファ・コーポレーションが破産 上川管内占冠村の大規模リゾート、トマムリゾートの施設の一部を所有するアルファ・コーポレーション(本社・東京)と、リゾート会員権販売のアルファ・ホーム(本社・札幌)が札幌地裁に自己破産を申請し、同地裁から破産宣告を受けた。
- 28日 ○パキスタンが同国初の核実験 バルチスタン州チャガイで5回の地下核実験を行った。シャリフ首相は、5月中旬に地下核実験を実施したインドへの対抗措置と強調。米国、日本の経済制裁発動にもかかわらず、30日には2度目の核実験を行った。
- 29日 ○失業率、最悪の4.1% 総務庁が発表した4月の完全失業率は、3月より0.2ポイント上昇して4.1%と過去最悪を更新した。初めて米国や英国並みの4%台に乗り、特に男性は、リストラの影響で4.2%と4月の米国男性の失業率を上回った。

## 6月のメモ

- 1日 ○工事予定価格を事前公表 網走土現の汚職事件を契機とした入札制度改善策として堀達也知事は記者会見で、工事予定価格の事前公表、地域を限定した一般競争入札を試験的に導入する方針を表明した。
- 3日 ○独新幹線が脱線事故 ドイツ版新幹線の超高速列車ICE（インター・シティ・エクスプレス）がドイツ北部のエッセンで脱線し、陸橋の橋脚に激突、102人の死者が確認された。1991年の開業以来初の大惨事。ドイツ運輸省は客車の車両が破損していることを確認し、事故との関係を調べている。
- 4日 ○網走土現汚職に有罪判決 網走土現の入札に絡む汚職事件で、収賄の罪に問われた元道建設部道路整備課長、高谷俊臣被告（53）の判決公判が札幌地裁であり、高麗邦彦裁判官は、同被告に懲役10月、執行猶予3年、追徴金100万円を言い渡した。
- 5日 ○エア・ドゥが路線免許を申請 北海道国際航空（エア・ドゥ、本社・札幌）が新千歳－羽田線の定期航空運送事業の路線免許を運輸省に申請した。10月30日に1日3便で就航し、来年度は新千歳－伊丹線（同2便）も開設する計画。参入規制緩和による新航空会社の免許は2社目。
- 9日 ○第2回定例道議会開会
- 10日 ○サッカーW杯が開幕 サッカーの第16回ワールドカップ（W杯）フランス大会が、パリ近郊のサンドニで開幕した。過去最多の32チームが出場。開幕戦は前回の優勝国ブラジルが2対1でスコットランドを下し、史上初のW杯50勝をマークした。
- 13日 ○白鳥大橋開通 室蘭港をひとまたぎする白鳥大橋（延長1380㍍）が開通。積雪寒冷地に建設された日本で初めての大型つり橋。1985年の着工から約1000億円を投入しての完成。
- 17日 ○道産イクラでO157感染か 道産のイクラを食べた富山県などの計18名が病原性大腸菌O157に感染していたことがわかり、県などは道に調査を依頼。大手スーパーなどで販売自粛の動きが広がったため、道は18日、製造元の根室管内別海町の業者名を、感染源断定前としては異例の公表に踏み切った。
- 22日 ○金融監督庁発足 大蔵省から金融検査・監督部門を分離し、総理府の外局として独立する金融監督庁が発足した。従来の不透明な裁量行政から脱却し、明確なルールに基づいた事後監視型の金融行政の確立を目指す。
- 23日 ○豊浜トンネル崩落事故で2人を書類送検 1996年2月、20人の犠牲者を出した後志管内古平町の豊浜トンネル崩落事故で、余市署の捜査本部は、適切な安全管理を怠ったとして業務上過失致死傷の疑いで、当時の小樽開建小樽道路事務所の道路維持課長と所長を札幌地検に書類送検した。
- 24日 ○エア・ドゥ1号機が羽田空港に到着 10月30日に新千歳－羽田線就航を予定している北海道国際航空（エア・ドゥ）の第1号機（286席）が保管されていた米国カリフォルニア州サンバナディーノ空港から羽田空港に到着した。
- 26日 ○第2回定例道議会閉会
- 30日 ○男性失業率4.3% 総務庁が発表した5月の完全失業率（季節調整値）は、最悪だった4月と同じ4.1%となった。企業のリストラの影響が著しい男性の失業率は4.3%で過去最悪。完全失業者数も前月比3万人増の293万人と過去最多だった。

**北海道議会時報 第50巻第2号**  
平成10年9月25日

編集 北海道議会事務局調査課  
発行 北 海 道 議 会 事 務 局